

社会福祉法人 青森社会福祉振興団

# 2024年度 事業報告書



# 1 法人経営方針

## 《事業総括》

### 1 はじめに

2024年は、介護報酬の改定や物価上昇、多様化する利用者ニーズなどの影響を受け、介護事業者の倒産が過去最多を記録しました。また、賃金の変動が介護業界に大きな影響を与え、特に他産業の賃金上昇に伴い、介護職員の確保が難しくなり、人材不足が更に深刻化しています。

限られた資源のなか、今後の高齢化に対応するためには、業務効率化と職員の負担軽減を目的とした、生産性向上の施策が最重要課題であると考えます。そのため、介護ロボットの導入やICT/IoT/AIの活用、業務プロセスの改善等を積極的且つ、持続的に行わなければなりません。更には、外国人労働者の受入や職員の育成・キャリアアップを支援する仕組み、職員が安心して働ける環境づくりも必要不可欠です。

しかしながら、このような施策が単なる効率化だけではなく、サービスの質の向上や利用者の尊厳を守ることに繋がっていくものと確信しています。未来に向けて、持続可能な介護×医療の仕組みをつくるためにも、「創意と工夫、努力と情熱」を積み重ね、その先にある「人、ひとりひとりの心地よさ」の実現と追及のために、邁進してまいります。

### 2 法人事業及びトピックス

#### (1) ベトナムでの医療福祉人材養成事業

①2023年12月1日に開設した、国立ベトナムフエ中央病院内の「まるめろ式高齢者介護ホーム」での、ベトナム人入居サービス利用者の受入。並びに、フエ中央病院ナースへ向けての、介護基礎講習、介護現場でのOJT指導を実施。

②2024年12月10日、IBS バクニン国際有限会社と、質の良いIBS老人ホームの建設・運営に関する協力合意書締結。

#### (2) ISO9001

国際的品質マネジメントシステムであるISO9001について、再認証審査を受審し更新、また以下事業所の拡張を行う。

##### 【仙台拠点】

仙台事業本部／特別養護老人ホームまるめろ／まるめろナースステーション西多賀／まるめろケアプランセンター西多賀

(3) 社会貢献活動

① 広報紙「まるめろ通信」発行

発行年月日：2024年 5月26日

7月28日

9月29日

11月24日

2025年 1月26日

3月30日

発行部数：年間12万部（1回当たり2万部）

発行手段：主要新聞3紙（全国紙2・地方紙1）への折込み

② 認知症カフェの運営

i 認知症カフェ「まるめろ」

日時：毎月第3金曜日 13:30～15:30

場所：海老川コミュニティセンター

ii あんどカフェ

日時：毎月第2木曜日 9:30～11:30

場所：福寿荘（むつ市川守町5-9）

③ ファミリープラザ「まるめろ食堂」の運営

日時：毎月最終土曜日 12:00～15:00

場所：金谷地域交流ホール

昼食料金：子ども（高校生以下）無料、大人（付添）300円

④ 仕事出前体験事業「ユメココ教室」開催

日時：11月14日

場所：東通村立東通村小学校

(4) その他

① 4月 ケアプラン作成AI支援プロジェクト始動。

2025年2月には、法人独自開発による生成AIを活用したケアプラン作成システム導入。

② 4月 誤薬防止服薬支援システム「服やつくん」導入。

【特別養護老人ホームみちのく荘】【特別養護老人ホーム金谷みちのく荘】

③ 5月 法人初の「特定技能」外国人受入。インドネシアより2名、特別養護外国人老人ホームまるめろに配属。

④ 6月 みちのくヘルパースクール 介護福祉士実務者研修講座（通信課程）開校。



- ⑤ 11月 法人初の外国人在留資格「技能実習」から、「特定技能」へ移行。城ヶ沢フードセンター配属のベトナム人調理員2名。
- ⑥ 2025年1月 利用者見守りシステム 全方位カメラ導入。  
【特別養護老人ホームみちのく荘】

(5) 各種助成関係

- ① 令和6年度青森県社会福祉施設等放射線防護対策設備維持管理費補助金【特別養護老人ホームみちのく荘】
- ② 令和6年度結核予防補助金【特別養護老人ホームみちのく荘／特別養護老人ホーム金谷みちのく荘】
- ③ 医療・福祉施設食材料費高騰対策支援金
- ④ 一般社団法人芳心会 2024年度助成金  
【特別養護老人ホームみちのく荘】
- ⑤ 令和6年度青森県介護テクノロジー定着支援事業費補助金  
【特別養護老人ホームみちのく荘】

(6) 法人委員会開催実績

委員会名	開催数
まるめろ通信委員会	6回
衛生委員会	12回
感染予防対策委員会	6回
入居系サービス向上委員会	12回
在宅系サービス向上委員会	12回
入居検討委員会	12回

## 法人における防災訓練実施表

各地区防災訓練実施日一覧表

2025/3/5

年度	施設及び項目	回/年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2024年度（予定）	特別養護老人ホームみちのく荘													
	総合訓練 （消火・通報・避難訓練）	2			6月26日 13:00～16:00				10月23日 13:00～16:00					
	夜間通報訓練	2			6月26日 18:30～19:00				10月23日 18:30～19:00					
	立入検査	1							10月23日 13:00～17:00					
	みちのく荘高齢者総合福祉施設													
	総合訓練 （消火・通報・避難訓練）	2			6月26日 13:00～16:00				10月23日 13:00～16:00					
	みちのくデイケアセンター													
	総合訓練 （消火・通報・避難訓練）	2			6月26日 13:00～16:30				10月23日 13:00～16:30					
	メディカルケアセンター													
	総合訓練 （消火・通報・避難訓練）	2			6月27日 13:00～14:30				10月24日 13:00～14:30					
	夜間通報訓練	2			6月27日 18:30～19:00				10月24日 18:30～19:00					
	立入検査	1							10月24日 13:00～14:30					
	総合福祉施設金谷みちのく荘													
	総合訓練（リハ） （通報・避難訓練）	2			6月12日 13:30～14:30				10月9日 13:30～14:30					
	総合訓練（特養） （消火・通報・避難訓練）	2			6月12日 14:45～15:45				10月9日 14:45～15:45					
	夜間通報訓練	2			6月5日 18:00～18:30				10月2日 18:00～18:30					
	立入検査	1							10月9日 13:30～15:45					
	城ヶ沢フード													
	立入検査	1							10月25日 10:00～11:00					
2024年度（実績）	特別養護老人ホームみちのく荘													
	総合訓練 （消火・通報・避難訓練）	2				7月3日 13:00～16:00			10月23日 13:00～16:00					
	夜間通報訓練	2				7月3日 18:30～19:00			10月23日 18:30～19:00					
	立入検査	1							10月23日 13:00～17:00					
	みちのく荘高齢者総合福祉施設													
	総合訓練 （消火・通報・避難訓練）	2				7月3日 13:00～16:00			10月23日 13:00～16:00					
	みちのくデイケアセンター													
	総合訓練 （消火・通報・避難訓練）	2				7月3日 13:00～16:30			10月23日 13:00～16:30					
	メディカルケアセンター													
	総合訓練 （消火・通報・避難訓練）	2				7月4日 13:00～14:30			10月24日 13:00～14:30					
	夜間通報訓練	2				7月4日 18:30～19:00			10月24日 18:30～19:00					
	立入検査	1												
	総合福祉施設金谷みちのく荘													
	総合訓練（リハ） （通報・避難訓練）	2			6月19日 14:00～15:00				10月30日 16:00～17:00					
	総合訓練（特養） （消火・通報・避難訓練）	2			6月19日 15:00～16:30				10月30日 15:00～16:30					
	夜間通報訓練	2			6月7日 18:00～18:30				10月30日 18:00～18:30					
	立入検査	1												
	城ヶ沢フード													
	立入検査	1							10月25日 10:00～11:00					
	特別養護老人ホームまるめろ													
	総合訓練 （消火・通報・避難訓練）	2			6月27日 15:00～16:00					11月13日 15:00～16:00				



## 2 法人本部

総務・ISOセクション

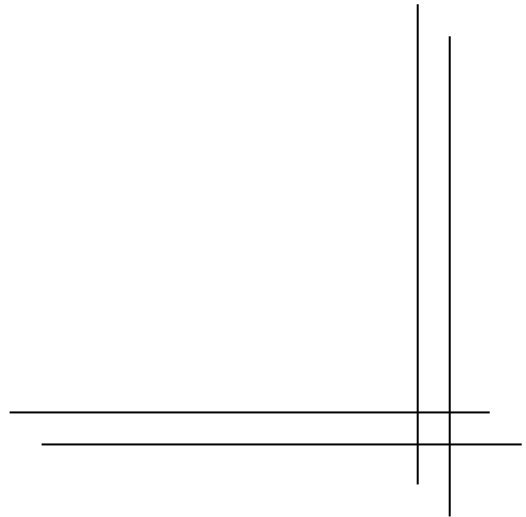
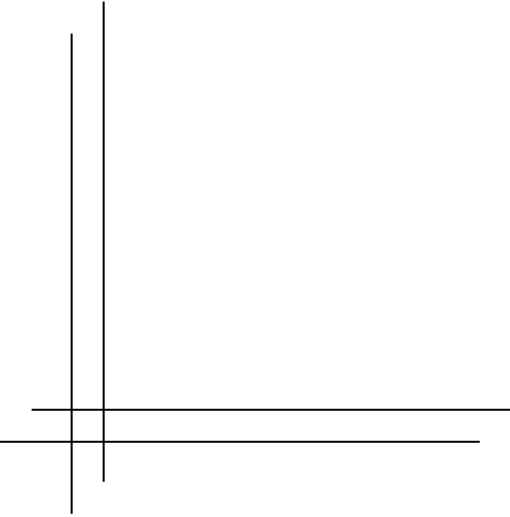
人事セクション

人材開発セクション

ICTセクション

財務セクション

管理セクション



## 2024 年度 事業所方針

作成日：2024/3/15

作成者：澤畑 教光

事業所名： 法人本部

### 【事業所方針】

- 生産性向上・業務効率化のためのDX推進
- 人材採用力と定着力の強化
- リスクマネジメント力の強化

【重点項目】 ■事業所方針をもとに、以下において取組内容等を設定する■

#### [A] 財務管理

取組内容		勤怠システム全事業所導入による給与処理時間の削減			
2023 年度	[4月～2月実績]	－			
2024 年度	[目標（値）]	処理時間50％削減			
	[結果]	処理時間61.3％削減			
評 価	A	評価日	2025/5/23	評価者	澤畑 教光
取組内容		新規システム等の導入に係る助成金等の申請			
2023 年度	[4月～2月実績]	－			
2024 年度	[目標（値）]	申請件数2件			
	[結果]	申請件数2件(いずれも採択済)			
評 価	A	評価日	2025/5/23	評価者	澤畑 教光

#### [B] 顧客満足度／サービス向上

取組内容		ICT機器導入による、職員満足度の向上			
2023 年度	[4月～2月実績]	－			
2024 年度	[目標（値）]	満足度70％以上			
	[結果]	満足度72％			
評 価	A	評価日	2025/5/23	評価者	澤畑 教光
取組内容		情報発信力（広報）の強化による、SNSフォロワー獲得			
2023 年度	[4月～2月実績]	Instagram フォロワー2,514人／Facebook フォロー中355人			
2024 年度	[目標（値）]	Instagram フォロワー3,000人／Facebook フォロー中400人			
	[結果]	Instagram フォロワー2,769人／Facebook フォロー中359人			
評 価	C	評価日	2025/5/23	評価者	澤畑 教光

#### [C] 教育訓練

取組内容		BCPの研修・訓練			
2023 年度	[4月～2月実績]	－			
2024 年度	[目標（値）]	BCPの研修・訓練実施			
	[結果]	本部主体としてBCP研修のみ実施			
評 価	B	評価日	2025/5/23	評価者	澤畑 教光

取組内容		関係法令改定に関する研修（セミナー）参加			
2023 年度	[4月～2月実績]	－			
2024 年度	[目標（値）]	5件以上			
	[結果]	5件参加			
評 価	A	評価日	2025/5/23	評価者	澤畑 教光

#### [D] リスク予知対策活動

取組内容		BCPの研修・訓練と見直し			
2023 年度	[4月～2月実績]	－			
2024 年度	[目標（値）]	BCPの研修・訓練の実施と見直し			
	[結果]	本部主体としてBCP研修のみ実施			
評 価	B	評価日	2025/5/23	評価者	澤畑 教光

#### [E] 継続的改善活動

取組内容		勤怠システム全事業所導入による給与処理時間の削減			
2023 年度	[4月～2月実績]	－			
2024 年度	[目標（値）]	処理時間50％削減			
	[結果]	処理時間61.3％削減			
評 価	A	評価日	2025/5/23	評価者	澤畑 教光
取組内容		財務業務の効率化			
2023 年度	[4月～2月実績]	－			
2024 年度	[目標（値）]	業務効率化ツールの採用			
	[結果]	不採用			
評 価	C	評価日	2025/5/23	評価者	澤畑 教光

#### [F] 関連指標

取組内容		外国人材の定着			
2023 年度	[4月～2月実績]	－			
2024 年度	[目標（値）]	ベトナム技能実習生3名の残留			
	[結果]	ベトナム技能実習生2名の残留			
評 価	B	評価日	2025/5/23	評価者	澤畑 教光
取組内容		新人事制度の推進と定着			
2023 年度	[4月～2月実績]	－			
2024 年度	[目標（値）]	課題解決率80％以上			
	[結果]	外部業者に依頼し制度見直しを図る			
評 価	－	評価日	2025/5/23	評価者	澤畑 教光

評価基準	A：目標を達成	[目標を達成している]
	B：おおむね達成	[目標に対しての度合いが半分を超えている]
	C：達成が十分とは言い難い	[A・Bに満たさない]

生産性向上・業務効率化のためのDX推進に関しては、勤怠管理における一気通貫プロジェクトにおいて、十分な成果を成し遂げることができた。また、ICT関連に係る助成金活用により見守りカメラの整備や、ICTセクション職員が他事業所に駐在し、現場の問題点を吸い上げる取り組みを実施。これにより、ハード・ソフト両面において、生産性向上を推進・牽引することができた。人材の採用力と定着力の強化に関しては、人事制度の見直しを外部に委託するなど、その効果・成果は今後注視しなければならないが、制度運用面の強化、採用に結びつけるための広報力の強化、また、外国人の採用、教育方法の再考等、総合的にしっかりと考えていかなければならない問題と捉えている。リスクマネジメント力の強化に関しては、BCPの研修・訓練において、本部主導での訓練をいかに実施するのか、来年度しっかりと実現できるよう計画を立案し、実行したい。また、各種法令改定に関する研修にも参加。コンプライアンスをしっかりと遵守しつつ、今後は法人組織体制の強化につなげていきたい。

## 1.研修開催報告書

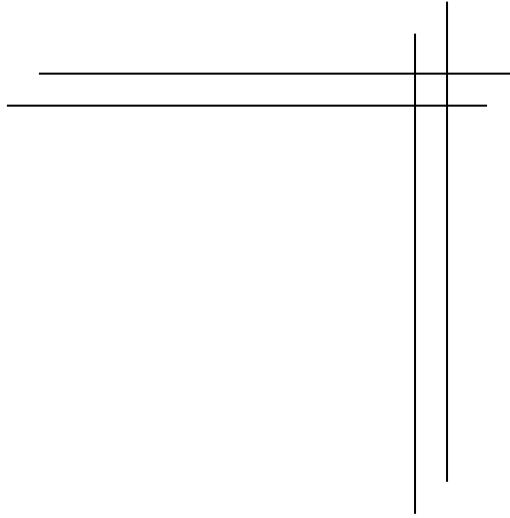
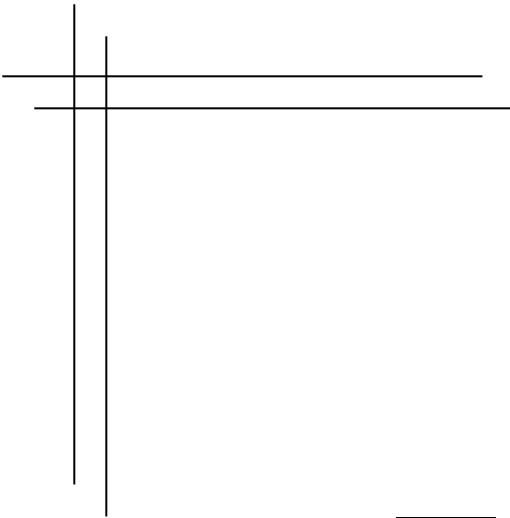
事業所名： 法人本部

実施月	研修の種類	教育訓練名
4月	内部	接遇研修
		新任採用者研修
5月	内部	新任採用者研修
6月	内部	接遇研修
		自分の役割・責務・職責
		内部監査事前研修
	外部	生理学的な動きを活用した介護技術の実践
8月	内部	Office操作研修
9月	内部	苦情・クレーム対応研修
	外部	介護ICT体験フェア
10月	内部	感染症研修
	外部	国際福祉機器展H.C.R2024
11月	外部	あおもり介護生産性向上推進セミナー
		気候変動をマネジメントシステムに組み入れるための導入セミナー
12月	内部	ハラスメントの研修
2月	外部	介護人材確保総合セミナー
3月	内部	BCP研修

## 2. 会議開催実績

会議名	開催月
総務・ISOセッション会議	毎月
ICTセッション会議	4月 5月 7月 8月 10月 11月 12月 1月 2月 3月
管理セッション会議	4月 6月 7月 2月
人事セッション会議	4月 5月 6月
財務セッション会議	7月
本部ISO会議	5月 3月



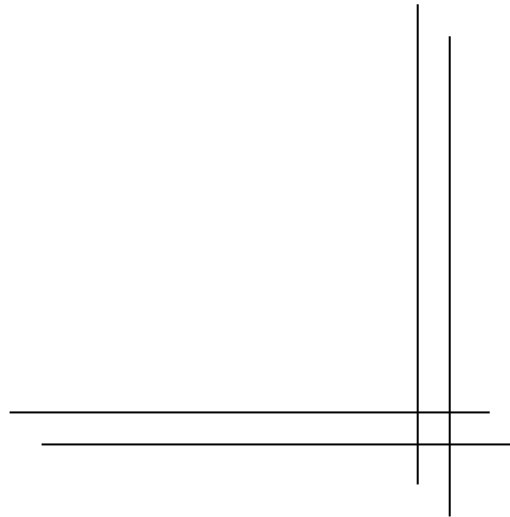


## 3 フード事業部

みちのく城ヶ沢フードセンター

十二林フード

金谷フード



## 2024 年度 事業所方針

作成日：2024/3/14

作成者：澤田 真紀

事業所名： フード事業部

### 【事業所方針】

- 業務の効率化・負担軽減を図り、経費削減に取り組む。
- 技能実習生の育成・指導を行う。

【重点項目】 ■事業所方針をもとに、以下において取組内容等を設定する■

#### 【A】財務管理

取組内容		ナリコマ購入費を除く食材購入金額の大幅な上昇を抑える。			
2023 年度	[4月～2月実績]	41,918,254円（月平均：ナリコマ導入前4,208,042円、導入後2,263,112円）			
2024 年度	[目標（値）]	27,383,655円以下			
	[結果]	27,995,645円			
評 価	B		評価日	2025/5/20	評価者 澤田 真紀

#### 【B】顧客満足度／サービス向上

取組内容		サテライトにおける顧客満足度の向上			
2023 年度	[4月～2月実績]	4.14点/5点満点			
2024 年度	[目標（値）]	4.32点/5点満点			
	[結果]	3.85点/5点満点			
評 価	C		評価日	2025/5/20	評価者 澤田 真紀

#### 【C】教育訓練

取組内容		技能実習生の初級試験合格を目指す			
2023 年度	[4月～2月実績]	-			
2024 年度	[目標（値）]	初級試験合格			
	[結果]	初級試験合格			
評 価	A		評価日	2025/5/20	評価者 澤田 真紀

#### 【D】リスク予知対策活動

取組内容		事故再発対策書の件数削減			
2023 年度	[4月～2月実績]	事故再発対策書8件			
2024 年度	[目標（値）]	事故再発対策書5件			
	[結果]	事故再発対策書14件			
評 価	C		評価日	2025/5/20	評価者 澤田 真紀
取組内容		K Y T 活動			
2023 年度	[4月～2月実績]	-			
2024 年度	[目標（値）]	前期 1 回、後期 1 回			
	[結果]	前期 1 回、後期 1 回			
評 価	A		評価日	2025/5/20	評価者 澤田 真紀

## [E] 継続的改善活動

取組内容		食材購入に関わる経費を抑える			
2023 年度	[4月～2月実績]	41,918,254円（月平均：ナリコ導入前4,208,042円、導入後2,263,112円）			
2024 年度	[目標（値）]	27,383,655円以下			
	[結果]	27,995,645円			
評 価	B	評価日	2025/5/20	評価者	澤田 真紀

## [F] 関連指標

取組内容		有給休暇5日/年間以上の取得率を上げる			
2023 年度	[4月～2月実績]	94%			
2024 年度	[目標（値）]	100%			
	[結果]	94.4%			
評 価	B	評価日	2025/5/20	評価者	澤田 真紀

評価基準	A：目標を達成	[目標を達成している]
	B：おおむね達成	[目標に対しての度合いが半分を超えている]
	C：達成が十分とは言い難い	[A・Bに満たさない]

## 【事業総括】

作成日：2025/5/20

作成者：澤田 真紀

2024年度 食材購入金額に関しては、4月より一年間を通して食材の高騰（1食材あたり、3～20%の増額）、8月より牛乳を献立から外し希望者のみ実費で提供開始したことで、献立からの牛乳購入分が月平均で217,648円減となった。12月新米切り替えより、精白米が1.8倍の値上がり（10kgあたり税込3,218円→5,821円）したことで、精白米購入金額が月平均で199,117円増となった。

また、改善活動では、代替による食材ロス、代替食用購入費用、ナリコマのミキサー食を利用することでとろみ剤の購入量、味噌汁の煮干しの見直し、デザートを手作りにするなどし、食材の購入量の減少と購入金額の高騰を抑えるよう努めた。

改善活動の取り組みの中でミキサー食の利用、汁物のだしの見直し、代替食の準備など作業が簡素化されたことで、業務の効率も良くなった。

結果的には、食材の購入金額が目標値までに抑えることができなかったが、経費についての節約意識や抑える為の取り組みなど、フード全体で取り組むことができた。

フードでは今年度計10回の企画食を提供。利用者からの要望がある食材を取り入れたメニューや、季節を感じてもらえるような旬の食材を組み込んだメニューの提供、楽しんでもらえるようなキャラデコデザートのメニューなどそれぞれの調理員の個々の思いから考えられたメニューを提供することができた。すべての企画食において、いつも好評であり、また利用者からの感想や意見がフードまで届くことで調理員の食事提供に対してのモチベーションアップにつながっているように感じた。一方で年一回の顧客満足度調査アンケートの評価にまでつなげることができず、残念であった。

海外人材に関しては、今年度初めて、十二林フードで春から技能実習生を受け入れ、日本語の指導、衛生管理や調理に関わる指導を行った。一年を通し遅番の一人立ちをし、少しずつ業務ができるようになり、早番一人立ちに向け指導中。城ヶ沢フードセンターでは、夏に5年間の技能実習を終え、特定技能へ切り替え雇用を継続となった。

## 1.研修開催報告書

事業所名： フード事業部

実施月	研修の種類	教育訓練名
6月	内部	自分の役割・責務・職責
7月	内部	感染症・衛生管理研修①
		KYTトレーニング①
9月	内部	ハラスメントの研修
1月	内部	感染症・衛生管理研修②
2月	内部	KYTトレーニング②
3月	内部	成長する過程の中での苦悩と努力
		B C P 研修

## 2. 会議開催実績

会議名	開催月
城ヶ沢フード会議	毎月
十二林フード会議	毎月
城ヶ沢フード会議	毎月

## 4 施設事業部

### 〔むつ拠点〕

特別養護老人ホームみちのく荘

特別養護老人ホーム金谷みちのく荘

みちのく金谷ショートステイ

みちのく十二林ショートステイ

ケアハウスみちのくグリーンリブ

グループホームまるめろ

## 2024 年度 事業所方針

作成日：2024/3/15

作成者：今 友明

事業所名： 特別養護老人ホームみちのく荘

### 【事業所方針】

- 1 業務のムリ・ムラ・ムダを明らかにし、生産性向上を進める。
- 2 ケアの質向上を目的にした、ロボット・ICT機器の活用を進める。
- 3 高い専門性技術と知識の習得

【重点項目】 ■事業所方針をもとに、以下において取組内容等を設定する■

### [A] 財務管理

取組内容		空床発生時の短期利用者確保			
2023 年度	[4月～2月実績]	短期入所 150/210床利用 利用割合 71 %			
2024 年度	[目標 (値) ]	利用割合 80 %以上			
	[結果]	利用割合 32 %			
評 価	C	評価日	2025/5/19	評価者	今 友明

### [B] 顧客満足度／サービス向上

取組内容		利用者・家族の面会満足度アップ			
2023 年度	[4月～2月実績]	データなし			
2024 年度	[目標 (値) ]	面会についての満足度「良い」 80 %以上			
	[結果]	面会についての満足度「良い」 98 %			
評 価	A	評価日	2025/5/19	評価者	今 友明

### [C] 教育訓練

取組内容		緊急時対応力の強化			
2023 年度	[4月～2月実績]	緊急時対応研修の開催5回			
2024 年度	[目標 (値) ]	緊急時対応研修の開催8回			
	[結果]	緊急時対応研修の開催5回			
評 価	C	評価日	2025/5/19	評価者	今 友明
取組内容		接客マナーの強化（来客対応、電話対応）			
2023 年度	[4月～2月実績]	研修実績なし			
2024 年度	[目標 (値) ]	接客マナー研修の開催2回			
	[結果]	接客マナー研修の開催2回			
評 価	A	評価日	2025/5/19	評価者	今 友明

### [D] リスク予知対策活動

取組内容		気付きのgoodを増やす			
2023 年度	[4月～2月実績]	気付きgood6件			
2024 年度	[目標 (値) ]	気付きgood20件			
	[結果]	気付きgood36件			
評 価	A	評価日	2025/5/19	評価者	今 友明

## [E] 継続的改善活動

取組内容		ICT機器を使用した業務改善			
2023 年度	[4月～2月実績]	---			
2024 年度	[目標（値）]	業務改善2件達成			
	[結果]	業務改善2件達成			
評価	A	評価日	2025/5/19	評価者	今 友明

## [F] 関連指標

評価基準	A：目標を達成	[目標を達成している]
	B：おおむね達成	[目標に対しての度合いが半分を超えている]
	C：達成が十分とはいえない	[A・Bに満たさない]

## 【事業総括】

作成日： 2025/5/19

作成者： 今 友明

2024年度は昨年度に引き続き介護現場のDX化を推進した。加えて外国人介護職員へのリスク管理を含めた教育を強化した。事業所方針に掲げていたICT機器を使用した業務改善として①服薬管理システム「ふくやっくん」を導入。歯止めが難しかった誤薬対策に対して効果を得ることができた。また全館に②コニカミノルタ製24h対応カメラ「MOBOTIX」を導入。利用者の転倒事故等を映像で分析することが可能になりリスク管理に効果を発揮している。

人員については予測通り減少を続けていて介護職・看護職共に有効的な応募がない状況が続いている。高額な紹介料を必要とする有料サイト経由での応募はあるが応募者の経歴やスキルと高額な紹介料が見合わず見送るケースがほとんどである。技能実習生とEPA職員に関しても就労継続の意向が不安定で期間満了と同時に帰国を選択する職員が多い。当初は継続の意向を示していた職員も突如として帰国を選択することがあるため意向確認のタイミングと次期外国人材の採用サイクルを綿密にスケジュールしていく必要性を感じた。

年間の営業実績は対前年比で104%を達成することができた。2024年度の基本報酬の引き上げに加え、各有料サービスを物価高に合わせて見直したり、新たな有料サービスを設定したことにより達成することができている。物価高はあらゆるものが対象となっており引き続き上がり続けると思われるため今後も継続的に検討していく必要がある。

## 1.研修開催報告書

事業所名： 特別養護老人ホームみちのく荘

実施月	研修の種類	教育訓練名
5月	内部	新任採用研修
6月	内部	新任フォローアップ研修①
		役割等級研修
		ケアマネ勉強会
7月	内部	ミドル研修
		防災訓練①
		新任フォローアップ研修②
	外部	認知症介護基礎研修
8月	内部	感染症研修①
		看取り研修①
		褥瘡予防研修①
9月	内部	苦情・クレーム対応研修
		人権擁護・虐待・身体拘束①
		新任フォローアップ研修③
10月	内部	BCP研修①
		リスクマネジメント研修事故防止研修①
		認知症ケア研修①
		防災訓練②
		リスクマネジメント研修事故防止研修②
		リスクマネジメント研修事故防止研修③
		接遇研修①
	外部	認知症実践者研修
		HCR視察
11月	内部	接遇研修②
	外部	ユニットリーダー研修
12月	内部	ハラスメントの研修
		リスクマネジメント研修事故防止研修④
		認知症ケア研修②
1月	内部	人権擁護・虐待・身体拘束②
2月	内部	リスクマネジメント研修事故防止研修⑤
		褥瘡予防研修②
3月	内部	感染症研修②
		ジュニア研修
		BCP研修②
		リスクマネジメント研修事故防止研修⑥
		看取り研修②



## 2. 会議開催実績

会議名	開催月
感染症委員会会議	4月 7月 10月 1月
QC改善計画会議	4月 9月
身体拘束適正化検討委員会会議	4月 8月 11月 2月
特養リーダー会議	毎月
納涼祭会議	5月
ICT委員会	5月 9月 12月 3月
事故防止委員会	5月 7月 10月 1月 2月
オンブズマン定例会	6月 10月
虐待防止適正化検討委員会会議	6月 8月 11月 2月
接遇会議	6月 9月 12月 3月
敬老会会議	7月
褥瘡予防委員会会議	6月 9月 12月 3月
忘年会会議	11月
豆まき会会議	12月

## 入居者の状況 [特別養護老人ホーム特養みちのく荘]

### ① 入退居者の状況

2024年04月 ～ 2025年03月

項 目		2024年								2025年			計 (人)	
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2		3
入居者		1	0	1	2	1	0	1	2	1	1	0	0	10
退居者		1	1	1	1	1	0	3	1	0	1	0	0	10
内 訳	死 亡	1	1	1	1	0	0	1	1	0	1	0	1	8
	入 院	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2
	他施設へ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	自宅引取	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
看取り実績		1	1	1	1	1	0	1	1	0	1	0	0	8
月末所在者数		60	60	59	60	60	59	60	60	58	59	60	59	

### ② 退居の内訳状況

2024年04月 ～ 2025年03月

内 訳	死亡	入院	他施設へ	自宅引取	計
男	0人	0人	0人	0人	0人
女	8人	2人	0人	0人	10人
計	8人	2人	0人	0人	10人

### ③ 介護度別入居者の状況

2025年3月31日 現在

項 目	男	女	計
要介護1	0人	0人	0人
要介護2	0人	0人	0人
要介護3	1人	2人	3人
要介護4	5人	22人	27人
要介護5	3人	27人	30人
計	9人	51人	60人
平均介護度			4.6

## ④ 入居者の入退院状況

2024年04月 ～ 2025年03月

項目	2024年									2025年			計 (人)
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
入院	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	1	3
退院	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1

## ⑤ 入居者の年齢状況

最高年齢者 104歳

( ☐ 男性 ・ ☒ 女性 )

2025年3月31日 現在

項 目	男	女	計
70～74歳	3人	2人	5人
75～79歳	0人	4人	4人
80～84歳	3人	2人	5人
85～89歳	0人	14人	14人
90～94歳	2人	13人	15人
95歳～	0人	16人	16人
計	8人	51人	59人
平均	79歳	90歳	89歳

## ⑥ 面会者の状況

2024年04月 ～ 2025年03月

区 分		面会者の 総 数	1人当たりの 平均面会者	1日当たりの 平均面会者
2024年	4月	12人	0.2人	0.4人
	5月	38人	0.6人	1.3人
	6月	29人	0.5人	0.9人
	7月	32人	0.5人	1.0人
	8月	52人	0.9人	1.7人
	9月	66人	1.1人	2.2人
	10月	65人	1.1人	2.1人
	11月	83人	1.4人	2.7人
	12月	85人	1.4人	2.8人
2025年	1月	42人	0.7人	1.4人
	2月	40人	0.7人	1.3人
	3月	57人	1.0人	1.9人
計		601人	0.8人	1.6人

⑦ 食事の状況 2025年3月31日 現在

食事形態	人数
常食	13人
きざみ	24人
ミキサー	22人
合計	59人

※1名 経管栄養

⑧ 日中におけるおむつの使用 2025年3月31日 現在

ユニット	おむつ使用者（日中）
東町	5人 / 9人
西町	3人 / 8人
本町	2人 / 9人
南町	8人 / 12人
北町	4人 / 12人
元町	5人 / 10人
合計	27人 / 60人

⑨ 夜間におけるおむつの使用 2025年3月31日 現在

ユニット	おむつ使用者（夜間）
東町	7人 / 9人
西町	5人 / 8人
本町	6人 / 9人
南町	9人 / 12人
北町	9人 / 12人
元町	9人 / 10人
合計	45人 / 60人

⑩ 入浴の状況 2025年3月31日 現在

入浴形態	人数
一般浴	34人
特浴	26人
合計	60人

2024 年度 事業所方針

作成日： 2024/3/11

作成者： 加藤 頼

事業所名： 特別養護老人ホーム金谷みちのく荘

【事業所方針】

- 1 業務改善推進による生産性向上と介護DX化を目指す。
- 2 アクティブシニア世代が安定した生活を出来るよう、ホスピタリティ及び専門技術向上を目指す。

【重点項目】 ■事業所方針をもとに、以下において取組内容等を設定する■

[A] 財務管理

取組内容		居室空床日数の削減（特養・ショートステイ）			
2023 年度	[4月～2月実績]	空床日数 112日			
2024 年度	[目標（値）]	空床日数 <del>65日</del> 85日 前年度対比 <del>40%</del> 24％削減			
	[結果]	空床日数 155日（特養：47日 ショート：108日）			
評 価	C		評価日	2025/4/15	評価者 水谷 亮介

[B] 顧客満足度／サービス向上

取組内容		対面面会（家族・知人等）又は外出機会を作る			
2023 年度	[4月～2月実績]	－			
2024 年度	[目標（値）]	1人あたり年2回以上			
	[結果]	面会のみで1人当たり11回達成（面会数：全440回）			
評 価	A		評価日	2025/4/15	評価者 水谷 亮介

[C] 教育訓練

取組内容		ワンスターの取得率Up			
2023 年度	[4月～2月実績]	対象者 10名/25名中 取得者40％			
2024 年度	[目標（値）]	対象者 15名/25名中 取得者60％			
	[結果]	今年度実績 10名／22名中 取得率45％			
評 価	B		評価日	2025/4/15	評価者 水谷 亮介

[D] リスク予知対策活動

取組内容		ヒヤリハットから業務改善に繋げる リスク予知対策書発行件数を増やす			
2023 年度	[4月～2月実績]	各対策書からの業務改善割合 <del>16%</del> リスク予知対策書発行件数6％			
2024 年度	[目標（値）]	各対策書からの業務改善割合 <del>20%</del> リスク予知対策書発行件数15％			
	[結果]	リスク予知対策書発行件数9％			
評 価	B		評価日	2025/4/15	評価者 水谷 亮介

[E] 継続的改善活動

取組内容		【A】 ICTなどを活用した業務の標準化			
2023 年度	[4月～2月実績]	－			
2024 年度	[目標（値）]	夜間の居室訪室回数削減夜勤業務の負担軽減（目標値：業務時間90分削減）			
	[結果]	業務時間17分削減（達成率19％）			
評 価	C		評価日	2025/4/15	評価者 水谷 亮介

取組内容	【B】利用者の楽しみや役割が出来るシステム作り				
2023 年度	[4月～2月実績]	－			
2024 年度	[目標（値）]	1人あたり1件以上			
	[結果]	1人1件以上達成（参加率60%→100%）			
評 価	A	評価日	2025/4/15	評価者	水谷 亮介

#### 【F】関連指標

取組内容	働きやすい職場づくり				
2023 年度	[4月～2月実績]	－			
2024 年度	[目標（値）]	5連休又は有休取得10日以上 <del>－(又は有休取得50%)－</del> /年間1人あたり			
	[結果]	13.4日/1人あたり(年間)			
評 価	A	評価日	2025/4/15	評価者	水谷 亮介

評価基準	A：目標を達成 [目標を達成している] B：おおむね達成 [目標に対しての度合いが半分を超えている] C：達成が十分とはいえない [A・Bに満たさない]				
------	--	--	--	--	--

### 【事業総括】

作成日： 2025/5/20

作成者： 水谷 亮介

〔重点項目の目標値修正について〕

#### 1、財務管理

前期MRの指示により、新型コロナウイルス感染等の有事を見込んだ削減目標へ下方修正している。

#### 2、リスク予知対策活動

前期MRの指示により、目標値に対する基準を明確にする為、活動内容と一致した目標値へ変更している。

〔総括〕

#### 1、業務改善推進による生産性向上と介護DX化を目指す。

→[E]継続的改善活動、[F]関連指標において、ICT・IoT推進によるDX化実現には具体的な目標設定と課題の分析、段階的な計画が不足しており、実現には至っていないが、既存のシステムや業務の見直しにより、職員の負担軽減及び有給取得率の向上に繋げる事が出来た。

#### 2、アクティブシニア世代が安定した生活を出来るよう、ホスピタリティ及び専門技術向上を目指す。

→[B]顧客満足度/サービス向上、[C]教育訓練、[D]リスク予知対策活動において、目標値の半数以上を達成する事が出来た。引き続き、顧客満足度の向上を目指して、ホスピタリティ及び専門技術の向上を事業所の重点項目として取り組んでいく。

〔課題と対策〕

[A]財務管理においては、突発的な入院により生じた空床を埋めることが出来なかったことにより、目標値を大幅に下回っている。短期利用希望者の減少により待機者が不足している事が主の要因ではあるが、引き続き営業活動に努める事と有料サービスによる売上増加により空床分を賄うことで財務管理に取り組んでいく。

## 1.研修開催報告書

事業所名： 特別養護老人ホーム金谷みちのく荘

実施月	研修の種類	教育訓練名
5月	内部	新任採用者研修
		認知症ケア研修
6月	内部	新任フォローアップ研修
		自分の役割・責務・職責研修
		介護技術研修
		ケアプラン研修
		QC活動研修
		接遇・ホスピタリティ研修
7月	内部	リーダーへの期待
		看取り介護研修
		感染症（コロナ含む）研修
		褥瘡予防研修
	外部	認知症介護基礎研修
		認知症チームケア推進研修
8月	内部	リスクマネジメント（事故防止・KYT）研修
9月	内部	苦情・クレーム対応研修
		権利擁護・虐待防止・身体拘束適正化研修
	外部	認知症介護リーダー研修
		東北ブロック老人福祉施設研究会
12月	外部	認知症介護実践者研修
1月	内部	ハラスメント研修
3月	内部	成長する過程の中での苦悩と努力
		BCP研修
		生産性向上研修
		ファシリテーター研修

## 2. 会議開催実績

会議名	開催月
特養フード会議	毎月
サービス担当者会議	毎月
リーダー会議	4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 12月 1月 2月 3月
生産性向上推進委員会	4月 7月 10月 2月
BCP委員会	4月 7月 10月 2月
褥瘡予防委員会	4月 7月 10月 2月
事故防止委員会	4月 7月 10月 2月
感染症委員会	4月 7月 10月 2月
身体拘束・虐待防止委員会	4月 5月 7月 10月 2月
看取り介護委員会	4月 7月 10月 2月
苦情委員会	4月 7月 10月 2月
接遇係会議	4月 5月 10月 2月
運営推進会議	5月 7月 9月 11月 1月 3月
夏祭り会議	5月 6月 7月 8月
敬老会会議	7月 8月 9月
忘年会会議	9月 10月 11月 12月 12月
QC Aチーム会議	10月



## 入居者の状況 [特別養護老人ホーム金谷特養みちのく荘]

### ① 入退居者の状況

2024年04月 ～ 2025年03月

項 目		2024年									2025年			計 (人)
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
入居者		1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	4
退居者		1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	4
内 訳	死 亡	1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	4
	入 院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	他施設へ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	自宅引取	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
看取り実績		1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	3
月末所在者数		29	29	29	29	29	29	29	29	29	29	29	29	

### ② 退居の内訳状況

2024年04月 ～ 2025年03月

内 訳	死亡	入院	他施設へ	自宅引取	計
男	2人	0人	0人	0人	2人
女	2人	0人	0人	0人	2人
計	4人	0人	0人	0人	4人

### ③ 介護度別入居者の状況

2025年3月31日 現在

項 目	男	女	計
要介護1	0人	0人	0人
要介護2	0人	0人	0人
要介護3	1人	2人	3人
要介護4	3人	13人	16人
要介護5	0人	10人	10人
計	4人	25人	29人
平均介護度			4.2

## ④ 入居者の入退院状況

2024年04月 ～ 2025年03月

項目	2024年									2025年			計 (人)
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
入院	1	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	3
退院	1	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	3

## ⑤ 入居者の年齢状況

最高年齢者 104歳

( ☐ 男性 ・ ☒ 女性 )

2025年3月31日 現在

項 目	男	女	計
70～74歳	1人	0人	1人
75～79歳	0人	0人	0人
80～84歳	0人	1人	1人
85～89歳	1人	2人	3人
90～94歳	0人	10人	10人
95歳～	2人	12人	14人
計	4人	25人	29人
平均	87.8歳	95.4歳	94.3歳

## ⑥ 面会者の状況

2024年04月 ～ 2025年03月

区 分		面会者の 総 数	1人当たりの 平均面会者	1日当たりの 平均面会者
2024年	4月	24人	0.8人	1.1人
	5月	35人	1.2人	1.7人
	6月	31人	1.1人	1.6人
	7月	27人	0.9人	1.2人
	8月	39人	1.3人	1.9人
	9月	23人	0.8人	1.2人
	10月	35人	1.2人	1.6人
	11月	27人	0.9人	1.4人
	12月	27人	0.9人	1.4人
2025年	1月	27人	0.9人	1.4人
	2月	32人	1.1人	1.8人
	3月	47人	1.6人	2.4人
計		374人	1.1人	1.6人

⑦ 食事の状況 2025年3月31日 現在

食事形態	人数
常食	17人
きざみ	5人
ミキサー	7人
合計	29人

※1名 経管栄養

⑧ 日中におけるおむつの使用 2025年3月31日 現在

ユニット	おむつ使用者（日中）
東町	5人 / 9人
北町	5人 / 10人
南町	7人 / 10人
合計	17人 / 29人

⑨ 夜間におけるおむつの使用 2025年3月31日 現在

ユニット	おむつ使用者（夜間）
東町	8人 / 9人
北町	6人 / 10人
南町	6人 / 10人
合計	20人 / 29人

⑩ 入浴の状況 2025年3月31日 現在

入浴形態	人数
一般浴	17人
特浴	12人
合計	29人

## 入居者の状況 [みちのく金谷ショートステイ]

### ① 利用人数（実人数）

2024年04月 ～ 2025年03月

介護度	2024年									2025年			計
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
要介護1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
要介護2	1	1	0	1	0	0	0	4	0	0	0	0	7
要介護3	5	5	4	4	4	4	5	4	3	3	4	4	49
要介護4	8	8	7	8	7	7	7	9	8	7	6	6	88
要介護5	0	0	0	1	1	0	0	1	1	1	1	1	7
計	14	14	11	15	12	11	12	18	12	11	11	11	月平均 12.6人

### ② 退居の内訳状況

2024年04月 ～ 2025年03月

介護度	2024年									2025年			計
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
要介護1	297	325	330	341	337	316	321	315	341	341	304	339	3,907

### ⑤ 利用者の年齢状況

最高年齢者 97歳

( ☐ 男性 ・ ☒ 女性 )

2025年3月31日 現在

項 目	男	女	計
65～69歳	1人	0人	1人
70～74歳	0人	0人	0人
75～79歳	1人	0人	1人
80～84歳	0人	1人	1人
85～89歳	1人	5人	6人
90～94歳	0人	5人	5人
95歳～	0人	2人	2人
計	3人	13人	16人
平均	77.7歳	89.8歳	87.5歳

## 2024 年度 事業所方針

作成日：2024/3/15

作成者：畑中 マチ子

事業所名： みちのく十二林ショートステイ

### 【事業所方針】

- 1 利用者・家族のニーズに対応できるように、ホスピタリティや介護技術の向上を進める。
- 2 ICT機器を活用し、サービスの質向上や業務の効率化を図る。

【重点項目】 ■事業所方針をもとに、以下において取組内容等を設定する■

### 【A】財務管理

取組内容		ベット回転率をアップする。			
2023 年度	[4月～2月実績]	ベット回転率100.4%			
2024 年度	[目標（値）]	101.5%を目指す。			
	[結果]	102.60%			
評 価	A		評価日	2025.05.20	評価者 畑中 マチ子

### 【B】顧客満足度／サービス向上

取組内容		接遇向上に取り組む。			
2023 年度	[4月～2月実績]	接遇向上に取り組み、自己評価2以上を目指す→自己評価2以上が56%			
2024 年度	[目標（値）]	毎月、自己評価（5段階）をする。評価2以上65%を目指す。			
	[結果]	自己評価平均74.3%			
評 価	A		評価日	2025.05.20	評価者 畑中 マチ子

### 【C】教育訓練

取組内容		感染症・緊急時の対応力の強化。			
2023 年度	[4月～2月実績]	各2回実施			
2024 年度	[目標（値）]	研修を各2回実施する。			
	[結果]	感染症研修6月・12月開催 リスクマネジメント研修8月・3月開催			
評 価	B		評価日	2025.05.20	評価者 畑中 マチ子
取組内容		接遇マナー向上に取り組む。			
2023 年度	[4月～2月実績]	なし			
2024 年度	[目標（値）]	接遇マナー研修開催。（電話、来客などへの対応）			
	[結果]	5月・2月に研修開催			
評 価	B		評価日	2025.05.20	評価者 畑中 マチ子

### 【D】リスク予知対策活動

取組内容		リスク予知対策書から、事故を未然に防ぐ。			
2023 年度	[4月～2月実績]	データなし			
2024 年度	[目標（値）]	リスク予知対策書24件			
	[結果]	リスク予知対策書5件			
評 価	C		評価日	2025.05.20	評価者 畑中 マチ子

## [E] 継続的改善活動

取組内容		ICT機器を活用した業務改善			
2023 年度	[4月～2月実績]	改善活動2件			
2024 年度	[目標（値）]	改善活動2件（ミニ改善レポート・改善ステップ）			
	[結果]	A：ICT機器を活用し、入退去業務の効率化を図る。B：目でわかる申し送りと業務			
評 価	B	評価日	2025.05.20	評価者	畑中 マチ子

## [F] 関連指標

取組内容		有休取得率			
2023 年度	[4月～2月実績]	平均取得率58%			
2024 年度	[目標（値）]	一人あたり平均50%以上			
	[結果]	平均62%			
評 価	A	評価日	2025.05.20	評価者	畑中マチ子

評価基準	A：目標を達成	[目標を達成している]
	B：おおむね達成	[目標に対しての度合いが半分を超えている]
	C：達成が十分とは言い難い	[A・Bに満たさない]

## 【事業総括】

作成日：2025/5/20

作成者：畑中 マチ子

今年度のベット回転率は102%、1日平均30.7人。体調不良などのキャンセルにより空床がでるため、空床情報を流して利用につなげることができた。

感染症の関係では、2025年1月にコロナ発症者があり、感染予防のため受け入れを5日間中止。その後感染者はなく利用再開することができたのは、利用者や御家族の理解と協力のおかげだと感謝している。

生産性向上の取り組みでは、ロボット、ICT機器は天井走行リフト、見守り支援機器、インカム、記録端末などを活用することで職員の介護負担軽減と業務の効率化につながっている。今後も新規ICT機器導入も検討しながら、業務の効率化が図れるように取り組んでいきたい。

海外人材は技能実習生3名、EPA3名配属されているが、定着して一緒に働くことができた。前年度は教育に力をいれたが、今年度は自立して動く事ができ、チームの一員として意欲的な面が感じられた。今後も働きやすい環境作りに取り組んでいきたい。

経費削減の取り組みは、利用者個々の排泄の現状把握に努めて、排泄時間・排泄形態・排泄物品の見直しに取り組むことができたが、排泄用品の値上がりにより金額的な削減につながらなかった。しかし、利用者のケア内容の見直しとサービスの質向上につながったので、継続して取り組んでいく。

ショートステイは在宅サービスの一つなので、利用者が自宅で生活できるように、ショート利用時には、目配り・気配り・心配りができるようにチームで取り組んでいきたい。

## 1.研修開催報告書

事業所名： みちのく十二林ショートステイ

実施月	研修の種類	教育訓練名
5月	内部	新任採用者研修
		①接遇マナー研修
6月	内部	中途採用者研修
		自分の役割・責務・職責
		①感染症研修・褥瘡予防研修
		①新任フォローアップ研修
	外部	介護技術研修
7月	内部	リーダーへの期待
		②新任フォローアップ研修
8月	内部	①人権擁護・虐待・身体拘束
		①リスクマネジメント研修
	外部	認知症介護基礎研修
9月	内部	苦情・クレーム対応研修
10月	内部	③新任フォローアップ研修
11月	内部	④新任フォローアップ研修
12月	内部	ハラスメント研修
		①認知症ケア研修
		②感染症研修・褥瘡予防研修
2月	内部	②人権擁護・虐待・身体拘束
		②接遇マナー研修
3月	内部	成長する過程の中での苦悩と努力
		BCP研修
		防災研修
		②認知症ケア研修
		②リスクマネジメント研修

## 2. 会議開催実績

会議名	開催月
ショート会議	毎月
ケアプラン会議	毎月
感染症委員会会議	毎月
事故防止委員会	毎月
身体拘束防止委員会	毎月
虐待防止委員会	毎月
褥瘡予防委員会	毎月
敬老会会議	8月
QC改善活動会議	6月 9月

# 利用者の状況（みちのく十二林ショートステイ）

①利用人数（実人数）

2024年4月～2025年3月

	2024									2025			計 (人)
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
要支援1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護1	6	8	9	6	5	5	6	6	4	3	4	5	67
要介護2	19	15	21	19	17	20	18	18	20	11	15	14	207
要介護3	21	21	20	22	18	16	20	16	20	18	18	17	227
要介護4	10	11	10	13	12	14	15	13	17	15	17	15	162
要介護5	8	10	9	9	9	9	11	11	10	13	13	12	124
	64	65	69	69	61	64	70	64	71	60	67	63	平均3.1

平均介護度 3.1

②利用人数（延べ人数）

2024年4月～2025年3月

	2024									2025			計 (人)
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
人数	925	944	923	955	944	910	967	952	969	884	888	959	11,220

③入居者の年齢状況 最高齢104歳

2025年3月31日現在

	65	70	75	80	85	90	95歳	計（人）	平均年齢
	｝	｝	｝	｝	｝	｝	｝		
	69歳	74歳	79歳	84歳	89歳	94歳			
男	1	0	3	6	1	1	1	13	80
女	0	1	1	11	13	16	8	50	88.8
計	1	1	4	17	3	17	9	63	84.4



2024 年度 事業所方針

作成日： 2024/3/15

作成者： 木村 貴弘

事業所名： ケアハウスみちのくグリーンリブ

【事業所方針】

- 1 生産性向上のため、PDCAサイクルによる業務改善の推進。
- 2 これからのアクティブシニア世代に対応したサービスの多様化を目指す。

【重点項目】 ■事業所方針をもとに、以下において取組内容等を設定する■

[A] 財務管理

取組内容		水道光熱費、有料サービスの見直し			
2023 年度	[4月～2月実績]	電気代基本料金 9 9 0 円			
2024 年度	[目標（値）]	電気代、その他水道光熱費に該当する請求項目について20%以上の値上げ			
	[結果]	688,747円（2023年同項目の合計で+63%増）			
評 価	A	評価日	2025/5/20	評価者	鷹架 亜紀子

[B] 顧客満足度／サービス向上

取組内容		お客様満足度アンケートの集計結果の向上			
2023 年度	[4月～2月実績]	利用者：71.3%、家族：84.6%			
2024 年度	[目標（値）]	利用者満足度 8 5 %			
	[結果]	利用者アンケート「サービス内容について」良い100%			
評 価	A	評価日	2025/5/20	評価者	鷹架 亜紀子

[C] 教育訓練

取組内容		計画通り研修を実施して、理解度向上。			
2023 年度	[4月～2月実績]	5/10、50%			
2024 年度	[目標（値）]	理解度4以上を100%			
	[結果]	理解度4以上を100%			
評 価	A	評価日	2025/5/20	評価者	鷹架 亜紀子

[D] リスク予知対策活動

取組内容		管理と連携し、BCP（事業継続計画）に基づき訓練を実施する			
2023 年度	[4月～2月実績]	計画書は、管理が作成。訓練は未実施。			
2024 年度	[目標（値）]	BCP（事業継続計画）に基づき、管理と連携し訓練を年1回実施する			
	[結果]	2025.3実施			
評 価	B	評価日	2025/5/20	評価者	鷹架 亜紀子
取組内容		感染症リスクに対して、予防、発生時の対応を行う			
2023 年度	[4月～2月実績]	感染症研修、2回実施。			
2024 年度	[目標（値）]	新たな感染症リスクに対して、予防、研修を行う			
	[結果]	5月と12月に実施			
評 価	A	評価日	2025/5/20	評価者	鷹架 亜紀子

## [E] 継続的改善活動

取組内容		生産性向上のため、PDCAサイクルによる業務改善を行う			
2023 年度	[4月～2月実績]	外出支援による日常生活の充実：アンケート満足度70%以上で目標達成。			
2024 年度	[目標（値）]	①外出支援の実施によるお客様満足度70%以上 ②5Sの推進による書類、データの整理と状態の維持			
	[結果]	①満足度100% ②計画No2 ミニ改善レポート			
評 価	A	評価日	2025/5/20	評価者	鷹架 亜紀子

## [F] 関連指標

取組内容		有給休暇取得率10日または、50%以上			
2023 年度	[4月～2月実績]	—			
2024 年度	[目標（値）]	50%以上			
	[結果]	平均取得日数9.1%			
評 価	B	評価日	2025/5/20	評価者	鷹架亜紀子

評価基準	A：目標を達成		[目標を達成している]		
	B：おおむね達成		[目標に対しての度合いが半分を超えている]		
	C：達成が十分とはいえない		[A・Bに満たさない]		

## 【事業総括】

作成日：2025/5/20

作成者：鷹架 亜紀子

2024年度は4月から事務費金額と民間施設給与等改善費が増額となった影響で全体的に収入増となった。加えて毎月1日の入居者在籍を確保できたことと有料サービスの値上げによる収入増もあった。しかしながら施設の老朽化による修繕費の出費も年々増加しており物価高の影響と合わせて注視して運営していく必要がある。

利用者の確保は他入居施設と同様に難しくなっている印象がある。待機者のほとんどは、今すぐの入居を考えているわけではなく、将来の保険として申し込みする方が多い。今年度もいざ空床が出て、お声をかけても入居されないケースが続いた。入居者本人とその家族、在宅ケアマネ等あらゆる関係者とコミュニケーションを図り、待機者を一定数確保し続けていくことに今後も取り組んでいく。

## 1. 研修開催報告書

事業所名： ケアハウスみちのくグリーンリブ

実施月	研修の種類	教育訓練名
4月	内部	感染症研修
5月	内部	事故発生防止・救急車要請研修
6月	内部	人権擁護・虐待・身体拘束研修
7月	内部	通報機器訓練・AED研修
8月	内部	ISO・KYT・リスクマネジメント研修
9月	内部	人権擁護・虐待・身体拘束研修
		苦情・クレーム（カスハラ）対応研修
10月	内部	事故発生防止・救急車要請研修
11月	内部	感染症研修
12月	内部	人権擁護・虐待・身体拘束研修
		ハラスメント研修
1月	内部	通報機器訓練・AED研修
2月	内部	接遇研修
		感染症研修
3月	内部	BCP研修

## 2. 会議開催実績

会議名	開催月
ケアハウス会議	毎月
拘束検討委員会	6月 9月 12月 3月
事故発生防止委員会	毎月
虐待防止委員会	9月 3月
感染対策委員会	5月 8月 11月 2月

# 1.入居者の状況

2025年3月31日現在

年月 項目		2024									2025			計 (名)
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
入居者		1	0	0	1	1	0	1	1	0	0	0	0	5
退居者		1	0	1	1	0	0	2	0	0	0	0	0	5
内 訳	死 亡	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	入 院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	他施設へ	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
	自宅引取	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	3
月初め在所者数		20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	

# 2.退居者の内訳

2024年4月～2025年3月

内訳 性別		死亡	入院	他施設へ	自宅引取	計（名）
男		1	0	0	1	2
女		0	0	1	2	3
計		1	0	1	3	5

# 3.市町村別入居者

2025年3月31日現在

内訳 性別		むつ市	大間町	東通村	風間浦村	佐井村	その他	計 (名)
男		8	0	0	0	0	1	9
女		11	0	0	0	0	0	11
計		19	0	0	0	0	1	20

# 4.入居者の年齢状況

2025年3月31日現在

内訳 性別		60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳	95歳～	計 (名)	平均 年齢
男		0	0	0	2	3	3	1	0	9	83.7
女		0	0	0	0	2	2	7	0	11	88
計		0	0	0	2	5	5	8	0	20	85.9

## 5.外泊・入院の状況

2024年4月～2025年3月

年月	2024									2025			計
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
外泊者数(名)	4	2	2	3	2	3	2	0	0	2	0	0	20
延外泊日数(日)	20	12	7	37	6	10	16	0	0	2	0	0	110
入院者数(名)	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
延入院日数(日)	1	31	30	0	0	0	0	0	0	0	0	0	62

## 6.階層別一覧

2025年3月31日現在

1階層	2階層	3階層	4階層	5階層	6階層	7階層	8階層	9階層	合計
3	1	0	1	3	2	1	0	0	20
10階層	11階層	12階層	13階層	14階層	15階層	16階層	17階層	18階層	
3	4	0	0	0	0	0	0	2	

## 7.要介護度別一覧

2025年3月31日現在

非該当	事業対象者	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
2	0	5	2	5	6	0	0	0	20人

## 2024 年度 事業所方針

作成日：2024/3/15

作成者：高屋敷佳代子

事業所名： グループホームまるめろ

### 【事業所方針】

- 1 専門知識の向上、個別に合わせたケアの追求
- 2 ICTを活用し、新時代のケアサービスを構築する。

【重点項目】 ■事業所方針をもとに、以下において取組内容等を設定する■

### 【A】財務管理

取組内容		居宅事業所、家族と連携を図り、入退居対応をスピーディーに行う。			
2023 年度	[4月～2月実績]	空床 27日			
2024 年度	[目標（値）]	空床 5日以内			
	[結果]	空床 12日（外泊3日間含む）			
評 価	C	評価日	2025/5/21	評価者	高屋敷佳代子

### 【B】顧客満足度／サービス向上

取組内容		顧客満足度調査			
2023 年度	[4月～2月実績]	満足している。 67%			
2024 年度	[目標（値）]	満足している。 77%			
	[結果]	満足している、やや満足している、計78%			
評 価	B	評価日	2025/5/21	評価者	高屋敷佳代子

### 【C】教育訓練

取組内容		認知症ケアの理解・スキルアップ			
2023 年度	[4月～2月実績]	認知症研修 1回開催			
2024 年度	[目標（値）]	認知症研修 2回以上開催			
	[結果]	認知症研修 2回開催			
評 価	B	評価日	2025/5/21	評価者	高屋敷佳代子

### 【D】リスク予知対策活動

取組内容		OTと連携を図り、新しい体操メニューを増やして、転倒予防に取り組む			
2023 年度	[4月～2月実績]	—			
2024 年度	[目標（値）]	転倒事故 2件			
	[結果]	転倒事故 5件			
評 価	C	評価日	2025/5/21	評価者	高屋敷佳代子

### 【E】継続的改善活動

取組内容		業務マニュアルを現状にあったものにして、無駄な物を減らす			
2023 年度	[4月～2月実績]	—			
2024 年度	[目標（値）]	3件のマニュアルを現状にあったものに変更する			
	[結果]	3件のマニュアルを変更出来た。			
評 価	B	評価日	2025/5/21	評価者	高屋敷佳代子

## [F] 関連指標

取組内容		有給休暇の取得			
2023 年度	[4月～2月実績]	6日以上取得 3名			
2024 年度	[目標（値）]	1人 5日以上			
	[結果]	8人中、5名5日以上取得			
評価	B	評価日	2025/5/21	評価者	高屋敷佳代子
評価基準	A：目標を達成 [目標を達成している]				
	B：おおむね達成 [目標に対しての度合いが半分を超えている]				
	C：達成が十分とは言い難い [A・Bに満たさない]				

## 【事業総括】

作成日： 2025/5/21

作成者： 高屋敷佳代子

2024年度は入退者1名、退去者1名であった。3月に入院した利用者が退院してくるまで、ショートで利用する方がいなかった為、退院する4月9日まで空床になってしまった。以前短期利用した方、長期で申し込みしている方等に案内をしてはいたが、利用に繋がらなかった。以前から申し込み時に短期利用も出来る事は伝える様にしているが、もう少し積極的に話をしていくようにしたい。

年度が替わってから、短期でも利用して見たいとケアマネから連絡があったので、空床が出来た時に案内がすぐ出来て、利用につながるように、日々の所で家族の方に状態を確認するなど連絡をしていきたいと思う。面会も外出もコロナ前と変わらず出来るようになり、面会は家族の来荘が増えているが、外出が中々出来ない状態が続いている為、今年度は全員で行けなくても、数名で外出出来るように計画をしていきたい。

前年度は職員の出入りがあり、業務内容が通常通りに出来ない時があったが、12月に異動してきた職員が独り立ちをして、段々業務も通常通りに戻ってきていて、行事や作業も出来る事が増えている。それぞれ職員も得意な事が色々ある為、利用者を巻き込んでいろんな事が出来るようにしていきたい。

## 1.研修開催報告書

事業所名： グループホームまるめろ

実施月	研修の種類	教育訓練名
4月	内部	身体拘束研修①
5月	内部	中途採用者研修
6月	内部	感染症研修①
		自分の役割、責務、職責研修
7月	内部	リーダーへの期待研修
8月	内部	緊急時研修
		認知症研修
		KYT研修
9月	内部	KYT研修
		苦情、クレーム（カスハラ）対応研修
10月	内部	虐待防止研修
		BCP研修①
1月	内部	ハラスメント研修
		感染症研修②
		感染症研修③
3月	内部	成長する過程の中での苦悩と努力
		BCP研修②
		身体拘束研修②

## 2. 会議開催実績

会議名	開催月
まるめろ会議	毎月
カンファレンス会議	毎月
身体拘束適正化検討委員会会議	4月 7月 10月 1月
虐待防止委員会会議	5月 8月 11月 2月
ICT委員会	5月 8月 11月 2月
運営推進会議	5月 7月 9月 11月 1月 3月
感染症委員会会議	6月 9月 12月 3月



# 2024年度入居者の状況

グループホームまるめろ

2024年4月～2025年3月

## 1. 入居・退居の状況

年 月 項 目	2024	5	6	7	8	9	10	11	12	2025	2	3	計
	4									1			
入 居 者	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
退 居 者	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
内 訳	死 亡	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	入 院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	他施設へ	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
	自宅取引	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
月末在居者数	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	

## 2. 介護度別入居者状況

2025年3月現在

介護度	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計
人数	0	0	2	4	0	3	9

## 3. 入居者年齢状況

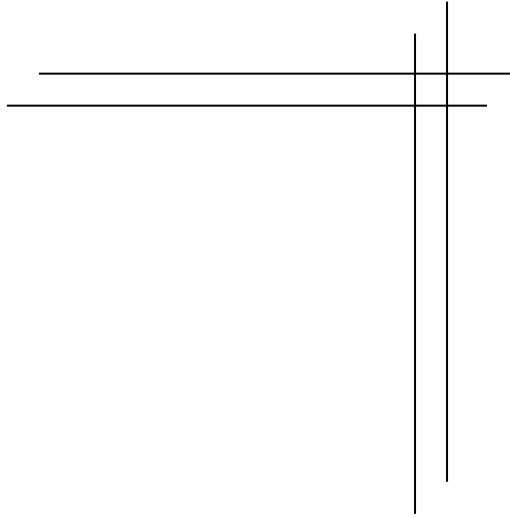
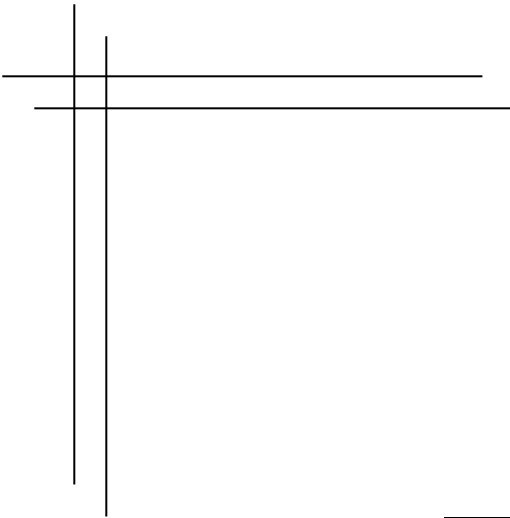
2025年3月現在

年齢	60～ 64歳	65～ 69歳	70～ 74歳	75～ 79歳	80～ 84歳	85～ 89歳	90～ 94歳	95歳 ～	合計
人数	0	0	0	0	3	3	2	1	9

## 4. 在居期間状況

2025年3月現在

期間	0 ～ 1年	1.1 ～ 2年	2.1 ～ 3年	3.1 ～ 4年	4.1 ～ 5年	5.1 ～ 6年	平均在居 期間
人数	1	3	3	0	0	2	2年6ヶ月



## 5 在宅事業部

### 〔むつ拠点〕

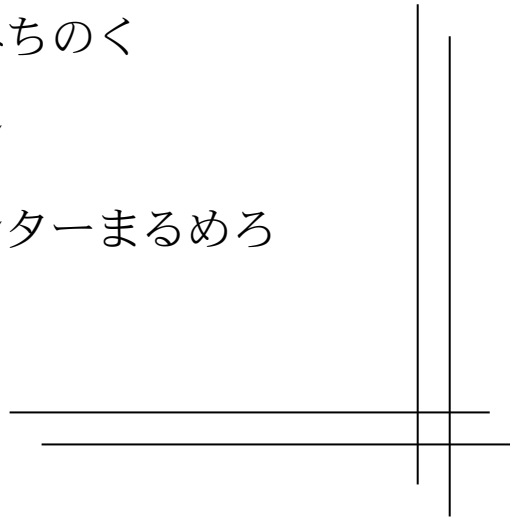
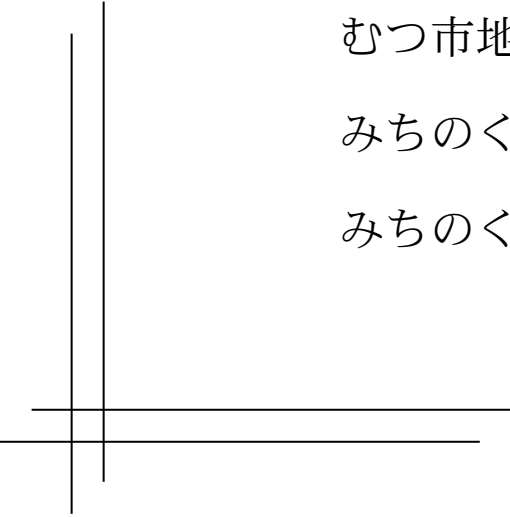
みちのくケアプランセンター

みちのく金谷ケアプランセンター

むつ市地域包括支援センターみちのく

みちのく訪問介護ステーション

みちのく金谷デイサービスセンターまるめろ



## 2024 年度 事業所方針

作成日：2024/3/13

作成者：野里 哲也

事業所名： みちのくケアプランセンター・みちのく金谷ケアプランセンター

### 【事業所方針】

- 1 アクティブシニア世代に順応できる、サービス提供の再構築を目指す。
- 2 業務内容の見直しを図り、業務の効率化とスタッフの負担軽減に取り組む。

【重点項目】 ■事業所方針をもとに、以下において取組内容等を設定する■

#### [A] 財務管理

取組内容		制度改正をふまえ、特定事業所加算を継続し算定できるように管理する。（十二林）			
2023 年度	[4月～2月実績]	¥ 19,437,450	（特定事業所加算Ⅰ）		
2024 年度	[目標（値）]	¥ 22,208,010	（特定事業所加算Ⅰ）		
	[結果]	実績で¥20,484,930。目標値に対し達成率は94.4%であった。			
評 価	B	評価日	2025/5/22	評価者	野里哲也
取組内容		ターミナルケアマネジメント加算の積極的な取得を図る。			
2023 年度	[4月～2月実績]	¥ 4,000	（悪性腫瘍に限定されていた為、1回のみ算定）		
2024 年度	[目標（値）]	¥ 64,000	（15回以上算定する）		
	[結果]	実績で、¥24,000。目標値に対し達成率は37.5%であった。			
評 価	C	評価日	2025/5/22	評価者	野里哲也

#### [B] 顧客満足度／サービス向上

取組内容		身体機能維持・改善が出来るケアマネジメントを行う。(利用者)			
2023 年度	[4月～2月実績]	令和5年度「満足度アンケート結果」回答内において、維持・改善回答が90.5%。			
2024 年度	[目標（値）]	令和5年度「満足度アンケート結果」回答内において、維持・改善回答が95.0%。			
	[結果]	顧客満足度アンケートの結果、維持・改善の回答が90.0%となった。			
評 価	B	評価日	2025/5/22	評価者	野里哲也

#### [C] 教育訓練

取組内容		専門性を磨き、役割等級に合った「わいスター」を取得する。			
2023 年度	[4月～2月実績]	1☆が、88.0%、2☆が、50.0%、3☆が、33.3%の取得率。			
2024 年度	[目標（値）]	2☆を、100%。3☆を、44.4%。4☆を22.2%で目指す。			
	[結果]	管理職2名を除いた結果、2☆が62.5%。3☆が37.5%。4☆が12.5%となる。			
評 価	B	評価日	2025/5/22	評価者	野里哲也

#### [D] リスク予知対策活動

取組内容		レセプト請求における、返戻を削減する。			
2023 年度	[4月～2月実績]	令和5年度、6件。			
2024 年度	[目標（値）]	令和6年度、3件以内。			
	[結果]	令和6年度、居宅事業所への返戻は3件となる。			
評 価	A	評価日	2025/5/22	評価者	野里哲也

## [E] 継続的改善活動

取組内容	積極的なICT活用を図り、業務の効率化を図る。				
2023 年度	[4月～2月実績]	事業所内「ラインワークス」活用による、報告・連絡の効率化が行えた。			
2024 年度	[目標（値）]	他事業所との「ラインワークス」活用に取り組み、情報連携の効率化を図る。			
	[結果]	法人内の在宅サービス事業所に対しては、ラインワークスが普及出来た。			
評 価	A	評価日	2025/5/22	評価者	野里哲也

## [F] 関連指標

取組内容	ケアプランデータ連携システムの積極的な活用を図る。				
2023 年度	[4月～2月実績]	対象事業所、1 事業所。			
2024 年度	[目標（値）]	対象事業所、5事業所に増やす。			
	[結果]	むつ地域の居宅やデイ・ヘルパー事業所へ活用を促すも、利用はなし。			
評 価	C	評価日	2025/5/22	評価者	野里哲也

評価基準	A：目標を達成	[目標を達成している]
	B：おおむね達成	[目標に対しての度合いが半分を超えている]
	C：達成が十分とは言い難い	[A・Bに満たさない]

## 【事業総括】

作成日：2025/5/22

作成者：野里 哲也

令和6年度、みちのくケアプランセンター、金谷ケアプランセンター事業総括として。

令和6年度は制度改正をふまえ、特定事業所加算を取得する十二林居宅事業所における各ケアマネの対応人数（減算とならない対応者数）が、44名から49名まで拡大したことにより、実績目標も前年度より目標値を上げて業務に取り組んだ。財務管理の分野では特定事業所加算1を継続的に取得出来るよう、算定要件を満たすべく人員の配置や事業所内定期会議の開催並びに居宅内研修の実施。他居宅事業所との連携や共同研修の開催、困難事例への対応、要介護3～5の割合40%以上の維持が図れるよう管理に務めたが、ターミナルケアマネジメント加算取得目標の15回は達成できず。むつ地域における在宅看取り体制状況の悪化により、今後加算取得に対しては厳しい状況と言える。教育訓練目標については、年度途中で4スター取得者が1名移動になった為、目標値の達成には至らなかったが、各々のケアマネが上位の☆取得に向けた取り組みが実践でき、全体的にはやや上のステージに向けた意識は向上できた。リスク予知の部分ではレセプト請求における「返戻数3件以内」を目標に掲げた。結果事業所への返戻数は3件で、返戻数0件は難しかったが、各返戻の内容について、今後は起こりえないような対策を講じる事が出来た。継続的改善活動では、当初、利用者や家族の他、外部のサービス事業所へ「LINEWORKS - 連絡通信アプリ」の普及を目指したが、セキュリティやコンプライアンスの観点から情報漏洩のリスクを懸念する声があった事をふまえ、活動途中で目標値の変更を図り、今年度は法人内サービス事業所へ普及を行い、安全性や利便性の検証を行った結果、各事業所に対しても報告・連絡・相談が行えやすくなった。

又各ケアマネに社用携帯を所持できるよう業務改善に取り組んだ事により、今まで電話連絡ですれ違いが多かったわずらわしさが解消され、利用者家族並びに業務関係者からも連絡が取りやすくなったとの評価を頂いている。令和6年度は元来の電話連絡に対してのすれ違い問題の改善を図ることが出来たおかげで、さらに関係機関と繋がりやすい事業所環境へと改善することが出来た。

関連指標で取り組んだ、データ連携システムの活用促進について、地域の居宅・デイ・ヘルパー事業所に利用を促すも、活用を検討して頂ける事業所は皆無であったが、今年度取り組んだ業務改善へのアプローチをそのままに、2025年度においても新たな改善目標に向かい、事業所全員で取り組んで行きたい。

## 1. 研修開催報告書

事業所名： みちのくケアプランセンター・みちのく金谷ケアプランセンター

実施月	研修の種類	教育訓練名
4月	内部	ケアマネ研修（接遇）
5月	内部	ケアマネ研修（虐待）
6月	内部	ケアマネ研修（感染症：コロナ・食中毒）
		自分の役割・責務・職責
7月	内部	ケアマネ研修（合同：引きこもり）
8月	内部	ケアマネ研修（合同：生活困窮者）
9月	内部	ケアマネ研修（事例検討）
		苦情・クレーム対応研修
10月	内部	ケアマネ研修（事例検討）
	外部	HCR 国際福祉機器展
11月	内部	ケアマネ研修(感染症：コロナ・インフル)
12月	内部	ケアマネ研修（事例検討）
		ハラスメントの研修(セクシャルハラスメント/パワーハラスメント)
1月	内部	ケアマネ研修（事例検討）
2月	内部	ケアマネ研修（事例検討）
3月	内部	ケアマネ研修（事例検討）
		BCP研修

## 2. 会議開催実績

会議名	開催月
居宅ISO推進会議	毎月
虐待防止委員会会議	居宅ISO推進会議内で実施
感染症委員会会議	居宅ISO推進会議内で実施
居宅QC会議	5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月

## 2024 年度 事業所方針

作成日：2024/3/12

作成者：小関 美津子

事業所名：むつ市地域包括支援センターみちのく

### 【事業所方針】

- 地域に出かけ介護予防活動を行い、高齢者の介護予防を支援する
- アナログ作業のDX化に取り組み、業務効率をあげる

【重点項目】■事業所方針をもとに、以下において取組内容等を設定する■

### 【A】財務管理

取組内容		介護予防支援(月90件)・介護予防ケアマネジメント費(月40件)			
2023 年度	[4月～2月実績]	6,708,240円			
2024 年度	[目標 (値) ]	6,900,000円			
	[結果]	7,517,120円			
評 価	A	評価日	2025/5/8	評価者	小関 美津子

### 【B】顧客満足度／サービス向上

取組内容		介護予防活動の拡大			
2023 年度	[4月～2月実績]	1ヶ所実施(松森町)			
2024 年度	[目標 (値) ]	3ヶ所実施			
	[結果]	6ヶ所実施			
評 価	A	評価日	2025/5/8	評価者	小関 美津子

### 【C】教育訓練

取組内容		担当業務についての専門性向上			
2023 年度	[4月～2月実績]	外部研修：6回参加			
2024 年度	[目標 (値) ]	外部研修：6回以上			
	[結果]	外部研修：6回参加			
評 価	A	評価日	2025/5/8	評価者	小関 美津子

### 【D】リスク予知対策活動

取組内容		BCP(災害・感染症)の確認			
2023 年度	[4月～2月実績]	－			
2024 年度	[目標 (値) ]	研修の実施、マニュアルの検証・見直し			
	[結果]	BCP作成、マニュアル一部修正			
評 価	C	評価日	2025/5/8	評価者	小関 美津子

### 【E】継続的改善活動

取組内容		ケアマネジメント業務管理のICT化			
2023 年度	[4月～2月実績]	－			
2024 年度	[目標 (値) ]	ケアマネジメント業務管理をケアカルテで行う			
	[結果]	ケアマネジメント業務管理表をエクセルで作成、使用できた。			
評 価	A	評価日	2025/5/8	評価者	小関 美津子

評価基準	A：目標を達成	[目標を達成している]
	B：おおむね達成	[目標に対しての度合いが半分を超えている]
	C：達成が十分とはいえない	[A・Bに満たさない]

## 【事業総括】

作成日：2025/5/8

作成者：小関 美津子

### 1.地域に出かけ介護予防活動を行い、高齢者の介護予防を支援する

保健師を中心に、地域の6ヶ所のサロンに出かけ、介護予防、権利擁護、介護保険等について8回の講義を行い、担当地域の町内の方々と顔の見える関係作りを進めることができた。サロンに来ることのできていない方々で気になる人はいないかの聞き取りを行った。また、次年度のむつ市の認知症総合事業の計画にあるチームオレンジについて説明し、地域での見守りが重要であることを伝えることができた。

今後も地域に出向いての介護予防活動は、継続が必要だと思われる。

### 2.アナログ作業のDX化に取り組み、業務効率をあげる

改善活動にて、ケアマネジメント業務の管理表をエクセルで作成し、活用まで進めることができた。

目標立案時は、ケアカルテ内での管理を目指したが、必要な情報、管理項目が異なるため使用できず、ケアカルテのデータをエクセルに貼り付けて利用できるよう作成。ICTセクションへ協力してもらいながら、修正を重ね、活用できる管理表を完成させることができた。

管理表を活用することにより、各相談員が個人ごとにアナログ管理していたものが、毎月最新の情報で管理表を作成、それに基づいて帳票等の作成ができるようになった。また、共有フォルダ内で管理することにより、職員がお互いに、進捗状況や業務の立て込み状況を確認することができるようになり、見える化ができた。新規相談の割り振り等にも役立っている。

### 3.その他

マネジメント収入は、目標の月130件を大幅に超え、月平均137.5件の結果であった。

包括全体の業務を考えると、マネジメント数は130件程度に抑える等、他業務とのバランス、職員への負荷を考慮し、進めていかなければならないと思われる。

## 1.研修開催報告書

事業所名：むつ市地域包括支援センターみちのく

実施月	研修の種類	教育訓練名
6月	内部	感染症研修
		自分の役割・責務・職責
9月	内部	苦情・クレーム対応研修
10月	外部	チームオレンジ・コーディネーター研修初任者
11月	内部	感染症研修
	外部	認知症キャラバンメイトフォローアップ研修
		市町村等職員実務能力向上研修(権利擁護)
12月	内部	ハラスメント研修
	外部	青森県介護予防支援従事者研修
1月	外部	青森県地域包括支援センター職員研修
2月	外部	青森県認知症施策市町村等セミナー
3月	内部	B C P 研修

## 2. 会議開催実績

会議名	開催月
包括ISO会議	毎月
ISO改善活動会議	5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月



## 2024 年度 事業所方針

作成日：2024/3/5

作成者：加藤 幸恵

事業所名： みのく訪問介護ステーション

### 【事業所方針】

- ICT活用での業務の効率化・改善に取り組む
- ヘルパーとしてのスキルアップを図り、利用者・家族と信頼関係のもとサービス提供する

【重点項目】 ■事業所方針をもとに、以下において取組内容等を設定する■

#### [A] 財務管理

取組内容		収入額が維持できるよう営業活動を行う			
2023 年度	[4月～2月実績]	22,411,415円			
2024 年度	[目標（値）]	22,199,479円			
	[結果]	26,568,184円			
評 価	A	評価日	2025/5/19	評価者	徳田 努

#### [B] 顧客満足度／サービス向上

取組内容		信頼される接遇を実践する			
2023 年度	[4月～2月実績]	顧客満足度アンケート：「言葉遣い」の評価「良い」94%			
2024 年度	[目標（値）]	顧客満足度アンケート：「言葉遣い」の評価「良い」を95%以上にする			
	[結果]	良い評価は85%であった			
評 価	B	評価日	2025/5/19	評価者	徳田 努

#### [C] 教育訓練

取組内容		専門職としての知識・技術を習得し、実践する			
2023 年度	[4月～2月実績]	内部研修14回			
2024 年度	[目標（値）]	内部研修14回以上 外部研修1回			
	[結果]	内部研修15回 外部研修2回			
評 価	A	評価日	2025/5/19	評価者	徳田 努

#### [D] リスク予知対策活動

取組内容		訪問忘れ・遅れをなくすためにICTを活用する			
2023 年度	[4月～2月実績]	訪問忘れ・遅れ 3件			
2024 年度	[目標（値）]	訪問忘れ・遅れ 0件			
	[結果]	訪問忘れ・遅れ 0件			
評 価	A	評価日	2025/5/19	評価者	徳田 努

#### [E] 継続的改善活動

取組内容		訪問予定管理のICT化で業務効率をあげる			
2023 年度	[4月～2月実績]	－			
2024 年度	[目標（値）]	訪問予定管理ソフトの導入			
	[結果]	ソフトを3社まで絞り込んだが、導入に至っていない			
評 価	C	評価日	2025.5.19	評価者	徳田 努

## [F] 関連指標

取組内容		会議や研修を効率よく行い、働きやすい職場をつくる			
2023 年度	[4月～2月実績]	会議時間 10回のうち1時間以上が3回			
2024 年度	[目標（値）]	会議時間 1 回1時間以内			
	[結果]	会議11回、全て1時間以内達成			
評 価	A	評価日	2025/5/20	評価者	徳田 努
評価基準	A：目標を達成 [目標を達成している]				
	B：おおむね達成 [目標に対しての度合いが半分を超えている]				
	C：達成が十分とはいえない [A・Bに満たさない]				

## 【事業総括】

作成日： 2025/5/20

作成者： 徳田 努

職員に関して、2024年6月30日付で登録ヘルパーが退職により1名減、2025年1月31日付で管理者兼事務員退職により1名減、管理者は変更したが事務員が不在の状況となった。また、市内の他事業所の状況に関してであるが、1事業所が2025年3月末で事業を終了した。

営業目標は、年度途中で当初よりも高く設定し直し、年間で28,408,000円を目標とし、結果は28,689,084円と達成することができた。前年度と比較しても117.1%増と、好成績を残すことができた。何とか調整して新規・追加の依頼を多く受けたことと、受診依頼が増えたことが売り上げ増の要因である。利用延べ回数は、2024年度が6,342回、2023年度が4,331回と、+1,368回であった。

訪問予定管理のICT化を図ろうとし、使用ソフトを絞り込むことまではできたが、人員が減少した影響もあってそれ以上取り組む時間を作ることができず、導入はできなかった。2025年度においても継続して取り組み、費用も考慮した上で選定し、導入可否の決定をしたい。

2025年度は生産性向上に取り組むとともに、利用者一人ひとりに合わせたケアの提供を心掛け、安定したサービスの提供ができるよう努める。

## 1.研修開催報告書

事業所名： みちのく訪問介護ステーション

実施月	研修の種類	教育訓練名
4月	内部	接遇研修
5月	内部	感染症研修
6月	内部	ハラスメント防止研修
		自分の役割・責務・職務研修
7月	内部	人権擁護・虐待防止研修
8月	内部	プライバシー保護の取り組みに関する研修
9月	内部	倫理及び法令遵守に関する研修
		苦情・クレーム対応研修
	外部	認知症介護実践研修
10月	内部	認知症研修
11月	内部	事故発生又は再発防止に関する研修
12月	内部	緊急時の対応
		ハラスメント研修
	外部	訪問介護サービス提供責任者研修
1月	内部	感染症研修②
3月	内部	B C P 研修

## 2. 会議開催実績

会議名	開催月
ヘルパー会議	毎月
サービス提供責任者会議	4月 7月

## 2024 年度 事業所方針

作成日：2024/3/13

作成者：今 夏美

事業所名：みちのく金谷デイサービスセンターまるめろ

### 【事業所方針】

- 1 認知症ケアを家族と連携して進めることでケアの質向上と利用者の満足度向上を目指す。
- 2 ICTの積極的な活用を進め業務改善に繋げる。

【重点項目】■事業所方針をもとに、以下において取組内容等を設定する■

### 【A】財務管理

取組内容		一日の利用平均人数を増やす			
2023 年度	[4月～2月実績]	9.3名			
2024 年度	[目標（値）]	11名			
	[結果]	8.9名			
評 価	C	評価日	2025/5/22	評価者	山田 有貴子

### 【B】顧客満足度／サービス向上

取組内容		顧客満足度調査 相談のしやすさ			
2023 年度	[4月～2月実績]	—			
2024 年度	[目標（値）]	良い 70%以上			
	[結果]	90.9%			
評 価	A	評価日	2025/5/22	評価者	山田 有貴子

### 【C】教育訓練

取組内容		GHまるめろとの合同研修の実施			
2023 年度	[4月～2月実績]	—			
2024 年度	[目標（値）]	年 1 回以上			
	[結果]	1 回開催			
評 価	B	評価日	2025/5/22	評価者	山田 有貴子

### 【D】リスク予知対策活動

取組内容		ヒヤリ気づき 業務（利用者への直接のケア以外）に関する気づきの強化			
2023 年度	[4月～2月実績]	7件			
2024 年度	[目標（値）]	20件以上			
	[結果]	23件			
評 価	A	評価日	2025/5/22	評価者	山田 有貴子

### 【E】継続的改善活動

取組内容		記録入力効率化			
2023 年度	[4月～2月実績]	—			
2024 年度	[目標（値）]	iPad活用による業務効率アップ			
	[結果]	iPad活用率14.9%アップ			
評 価	A	評価日	2025/5/22	評価者	山田 有貴子

## [F] 関連指標

取組内容		まるめろデイでの様子をQRコードで動画配信する			
2023 年度	[4月～2月実績]	—			
2024 年度	[目標（値）]	全利用者5割以上			
	[結果]	0割			
評 価	C	評価日	2025/5/22	評価者	山田 有貴子
評価基準	A：目標を達成 [目標を達成している]				
	B：おおむね達成 [目標に対しての度合いが半分を超えている]				
	C：達成が十分とはいえない [A・Bに満たさない]				

## 【事業総括】

作成日： 2025/5/21

作成者： 今 夏美

・2024年度は、利用者の満足度向上のため、まるめろデイでの様子をQRコードを活用し配信することに取り組んだが、結果としてQRコードを活用しての配信はできなかった。しかし、写真と口頭での様子を伝えることはできた。また、昨年度から引き続き、まるめろデイの職員が送迎に出ることで、直接家族とやり取りする機会が増え、困りごとに対しアドバイス・助言をすることができ家族との連携を図ることができた。その結果として顧客満足度調査結果は、悪い意見なく、良い評価が多かった。QRコードでの配信は、利用者ひとりひとり写真を選別、QRコードを作成する時間を取ることが困難であったため、他の方法を検討していく。

・GHとの合同研修では、お互い事業所の様子を見て、気づきやアドバイスなど情報交換をする目的とし、お互いを批判するのではなく、「もっとこうしたら良くなる」という視点で実施した。同じことをしていても、声掛けの仕方の違いでまったく違う見え方、雰囲気になることを実感し、介護の奥深さを改めて感じることもできた。ケア方法や声掛けの仕方を具体的にアドバイス、実際に見ることですぐに実践に繋げることができ、有意義な研修となった。

・業務改善ではiPadの活用率を上げることで、見守りしながら記録入力することができ、事務所でのPCでの記録時間を削減することができた。iPadで記録することで、見守りしながら記録入力できる利点と、他の仕事時間を作ることができ、業務の効率化を図ることができた。

・一日の平均利用人数は目標値に達成できなかったが、宅老ができなくなってから初めて1月の火曜日利用人数を12名にすることができた。今年度は入院する方が多く、すぐに新規利用者を入れることもできない状況があった。しかし、利用している方の状態変化でほぼ毎日の追加利用の希望があり、延べ人数が大きく減少することは避けることができた月もあった。入院となった場合、ケアマネへ利用者の状態確認をすると共に、退院後利用日が変更になっても良いかなど確認・相談していきたい。居宅と連携を図り、利用者・家族が困らないよう対応していきたい。

## 1.研修開催報告書

事業所名： みちのく金谷デイサービスセンターまるめろ

実施月	研修の種類	教育訓練名
4月	内部	認知症研修
5月	内部	緊急時対応研修
		送迎研修
		認知症研修
6月	内部	感染症研修
		認知症研修
		主任・係長研修
7月	内部	認知症研修
		介護技術研修
		リーダー研修
8月	内部	接遇研修
		認知症研修
9月	内部	感染症研修
		苦情・クレーム対応研修
		認知症研修
10月	内部	身体拘束研修
		個人情報・プライバシー保護研修
		認知症研修
11月	内部	リスクマネジメント事故防止研修
		認知症研修
12月	内部	認知症研修
1月	内部	緊急時対応研修
		認知症研修
2月	内部	認知症研修
	外部	認知症対応型サービス事業管理者研修
3月	内部	認知症研修
		GH合同認知症研修

## 2. 会議開催実績

会議名	開催月
まるめろ運営推進会議	毎月
運営推進会議	5月 7月 9月 11月 1月 3月

2024年度 みちのく金谷デイサービスセンターまるめろ 年間実績

2025年3月31日現在

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(人)	月平均 (人)
要支援2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護1	6	7	8	5	5	6	6	6	6	5	4	4	68	6.3
要介護2	11	10	9	9	9	8	8	11	11	11	10	11	118	11.7
要介護3	11	12	11	13	10	9	8	8	8	8	10	12	120	10.8.
要介護4	5	5	4	4	7	6	6	6	6	6	6	5	66	5.4
要介護5	2	3	3	3	3	3	3	2	2	2	1	1	28	1.6
利用者数	35	37	35	34	34	32	31	33	33	32	31	33	400	
営業日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	30	28	31	359	
月間延べ利用者数	276	314	279	282	266	243	252	229	276	275	250	283	3225	
1日平均利用者数	9.2	10.1	9.3	9.1	8.6	8.1	8.1	7.6	8.9	9.2	8.9	9.1	年間一日平均 8.9人	

[みちのく金谷デイサービスセンターまるめろ（認知）]

《利用者の状況》

2025年3月31日現在

1 性別・人数の構成

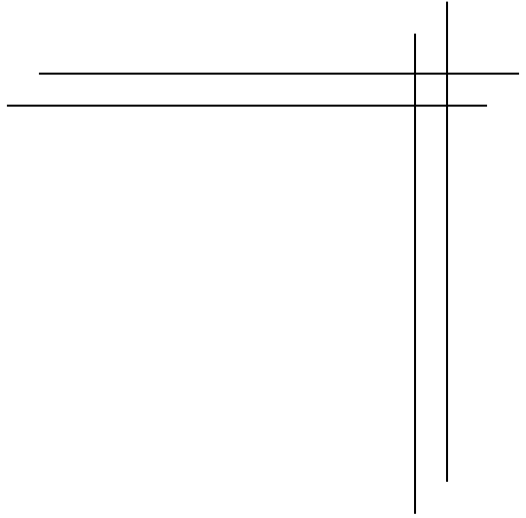
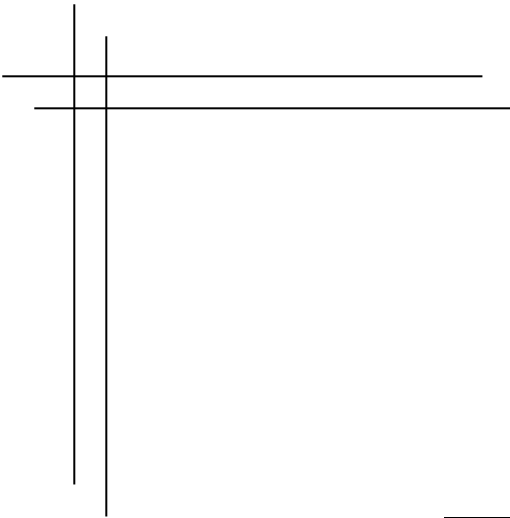
性 別	利用人数	合計（人）
男 性	5	32
女 性	27	

2 年齢の構成

年齢別階層	男 性(人)	女 性(人)	合計(人)
65 歳未満	0	0	0
65 歳～69 歳	0	0	0
70 歳～74 歳	0	3	3
75 歳～79 歳	2	3	5
80 歳～84 歳	2	5	7
85 歳～89 歳	1	12	13
90 歳～94 歳	0	3	3
95 歳以上	0	1	1
合 計	5	27	32

項 目	男 性(歳)	女 性(歳)	平 均(歳)
平均年齢	81.4	87.5	84.5
最高年齢	87	96	91.5
最低年齢	78	71	74.5





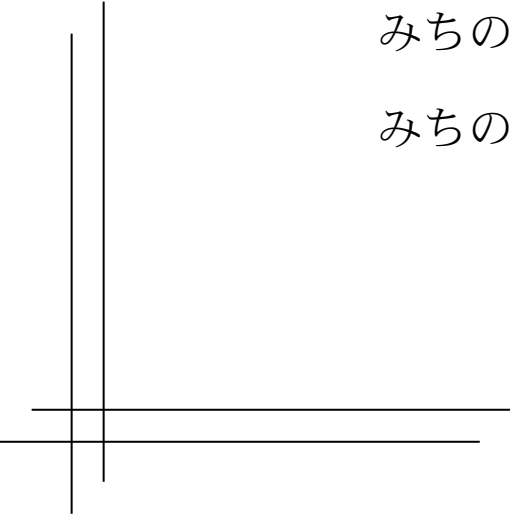
## 6 医療事業部

〔むつ拠点〕

みちのくりハビリテーションセンター

みちのく訪問看護ステーション

みちのくクリニック



## 2024 年度 事業所方針

作成日： 2024/3/6  
作成者： 山田 有貴子

事業所名： みちのくりハビリテーションセンター

### 【事業所方針】

1 ICTの積極的な導入を進め、課題の見える化と対策に取り組むことで、業務改善と顧客満足度向上に繋げる。

【重点項目】 ■事業所方針をもとに、以下において取組内容等を設定する■

#### [A] 財務管理

取組内容		1 時間一人当たりの収入額の増収			
2023 年度	[4月～2月実績]	3 事業所平均 3,610円			
2024 年度	[目標 (値) ]	2 %UP			
	[結果]	平均2,830円で、21.6%DOWN			
評 価	C	評価日	2025/4/11	評価者	山田 有貴子

#### [B] 顧客満足度／サービス向上

取組内容		顧客満足度アンケートの実施			
2023 年度	[4月～2月実績]	デイケア：デイケアの印象 不満 1.2% 金谷リハ：挨拶・言葉使い 不満 1 %、リハビリ内容 不満 4 % 訪問リハ：不満なし			
2024 年度	[目標 (値) ]	不満 0 %			
	[結果]	デイケア：デイケアの印象 暗い3 % 金谷リハ：言葉使い 不満 1 %、リハビリの内容 不満 4 % 訪問リハ：不満なし			
評 価	B	評価日	2025/4/11	評価者	山田 有貴子

#### [C] 教育訓練

取組内容		リハ事業所の全職員のワンスター取得			
2023 年度	[4月～2月実績]	ワンスター未取得者 18名			
2024 年度	[目標 (値) ]	合格率100 %			
	[結果]	2名受験し、2名合格			
評 価	A	評価日	2025/4/11	評価者	山田 有貴子

#### [D] リスク予知対策活動

取組内容		ヒヤリハットの報告件数の増加			
2023 年度	[4月～2月実績]	46件			
2024 年度	[目標 (値) ]	3事業所合計 250件			
	[結果]	3事業所合計 225件			
評 価	B	評価日	2025/4/11	評価者	山田 有貴子

## [E] 継続的改善活動

取組内容		リハビリ会議スケジュールのシステム化			
2023 年度	[4月～2月実績]	対象者ピックアップ～スケジュール完成 = 手作業			
2024 年度	[目標（値）]	対象者ピックアップ～スケジュール完成 = ICT化			
	[結果]	Excelでの自動作成となり、作業時間87.3%削減			
評価	A	評価日	2025/4/11	評価者	山田 有貴子

## [F] 関連指標

評価基準	A：目標を達成	[目標を達成している]
	B：おおむね達成	[目標に対しての度合いが半分を超えている]
	C：達成が十分とはいえない	[A・Bに満たさない]

## 【事業総括】

作成日：2025/5/15

作成者：山田 有貴子

2024年度は、年度変わりにデイケアで1名、5月に金谷リハ1名、10月に金谷リハ1名退職と計3名が退職、2025年2月には金谷リハ1名産休と前年度からリハ専門職が4名減り、現在のリハビリテーションセンターの規模になってから理学療法士数が最少人数での運営となった。そのため2024年11月から訪問リハビリテーションセンターを2.5名体制から1.0名体制へ事業規模を縮小。金谷リハは理学療法士2.0名体制から1.0名体制（管理職除く）、デイケアは職員数には大きな変化はないものの役割変更により現場対応するリハ職が3.5名から2.5名となった。その中で生産性向上として目標に掲げていた、1時間一人当たりの収入額を増やすことが出来るように取り組んだが、達成することは出来なかった。金谷リハの実績は維持することが出来たが、デイケアの新規利用者の定着が難しく実績額が伸びなかったこともあり、1時間一人当たりの収入額は21.6%（780円）の減収、実績額としては2023年度と比較し3事業を合わせ7.8%（約1,750万円）の減収となった。

しかしながら、ICTの導入・活用面では、リハビリテーションマネジメント加算の加算要件を満たすために必要な作業を簡略化することができた。細かく正確さを求められる作業を手作業で行い毎月7時間30分かかっていたが、ICTセクションの協力を得たことで1時間以内に終わらせることが出来るようになった。リハ専門職が減り必然的に現場業務が増加していく中で、毎月6時間半、年間78時間もの作用時間を削減できたことは非常に画期的であり効率化・生産性向上に繋げることが出来たと考える。

また、2024年度の顧客満足度アンケートには、在宅系事業所でアンケート内容の共通部分を作りQRコードでの回答をしてもらうという試みを行った。QRコードを活用しての回答率は低かったが、何事業所分もアンケートに答える利用者負担や各事業所の集計負担を軽減できるよう、次年度も取り組みを検討していきたいと考えている。

次年度は実績額の向上に取り組む、生産性向上については自事業所のみならず法人全体として考えていけるよう取り組んでいきたい。

## 1.研修開催報告書

事業所名： みちのくりハビリテーションセンター

実施月	研修の種類	教育訓練名
5月	内部	送迎研修
		中途採用者振り返り研修①
		緊急時対応研修①
6月	内部	自分の役割・責務・職責
		感染症研修①
7月	内部	リーダーへの期待
9月	内部	苦情・クレーム対応研修
10月	内部	身体拘束研修
		個人情報・プライバシー保護研修
11月	内部	リスクマネジメント事故防止研修
12月	内部	ハラスメント研修
3月	内部	BCP研修

## 2. 会議開催実績

会議名	開催月
虐待防止委員会	6月 8月 10月
入浴会議	6月 8月 12月 2月
リハビリテーション会議	6月 8月
デイケア会議	1月
QC会議	8月

2024年度 みちのくデイケアセンター 年間実績

2025年 3月 31日現在

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(人)	月平均(人)
総合事業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
要支援1	3	4	4	4	2	3	5	5	12	6	11	10	69	5.8
要支援2	29	43	37	36	31	29	36	32	28	31	44	41	417	34.8
要介護1	188	197	181	172	152	149	159	140	165	152	140	153	1,948	162.3
要介護2	173	167	163	187	167	149	200	165	151	156	173	201	2,052	171.0
要介護3	154	180	162	179	182	141	152	127	125	116	103	105	1,726	143.8
要介護4	89	96	93	89	82	75	67	50	58	56	57	71	883	73.6
要介護5	39	45	38	45	63	56	58	56	51	45	48	50	594	49.5
月間延べ利用者	675	732	678	712	679	602	677	575	590	562	576	631	7,689	
営業日数	21	21	20	22	21	19	22	20	20	19	18	20	243	
1日平均利用者数	32.1	34.9	33.9	32.4	32.3	31.7	30.8	28.8	29.5	29.6	32.0	31.6	年間一日平均	31.6

2024年度 みちのく金谷リハビリテーションセンター 年間実績

2025年 3月 31日現在

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(人)	月平均(人)
総合事業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	4	0.3
要支援1	126	132	126	135	103	111	132	94	103	102	115	137	1,416	118.0
要支援2	326	315	319	392	319	343	408	364	352	367	358	384	4,247	353.9
要介護1	220	231	223	253	217	224	245	250	235	197	195	208	2,698	224.8
要介護2	245	202	202	224	201	209	235	215	204	190	185	213	2,525	210.4
要介護3	80	86	84	84	70	70	85	77	78	77	77	82	950	79.2
要介護4	19	16	15	21	9	16	26	23	24	35	33	41	278	23.2
要介護5	14	9	12	11	12	6	0	0	0	0	0	0	64	5.3
月間延べ利用者	1,030	991	981	1,120	931	979	1,131	1,023	996	968	963	1,069	12,182	
営業日数	22	21	19.5	22	21	19	22	20	20	19	18	20	243.5	
1日平均利用者数	46.8	47.2	50.3	50.9	44.3	51.5	51.4	51.2	49.8	50.9	53.5	53.5	年間一日平均	50.1

2024年度 みちのく訪問リハビリテーションセンター 年間実績

2025年 3月 31日現在

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(人)	月平均(人)
要支援1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
要支援2	10	13	7	6	10	10	10	0	0	0	0	0	66	5.5
要介護1	11	9	8	13	13	13	9	4	4	4	8	13	109	9.1
要介護2	39	50	41	49	46	43	45	32	31	32	33	27	468	39.0
要介護3	42	43	34	40	21	25	27	13	10	8	9	13	285	23.8
要介護4	57	64	58	67	71	66	75	43	37	37	32	30	637	53.1
要介護5	91	104	88	103	83	97	96	54	46	44	40	40	886	73.8
月間延べ利用者	250	283	236	278	244	254	262	146	128	125	122	123	2,451	
営業日数	22	23	20	23	22	21	23	21	20	20	20	21	256	
1日平均利用者数	11.4	12.3	11.8	12.1	11.1	12.1	11.4	7.0	6.4	6.3	6.1	5.9	年間一日平均	9.5

## 【みちのくデイケアセンター】

### デイケア（予防）

《利用者の状況》

2025年 3月 31日

#### 1. 性別・人数の構成

性別	利用人数	合計（人）
男性	3	11
女性	8	

#### 2. 年齢の構成

年齢別階層	男 性（人）	女 性（人）	合 計（人）
65歳未満	0	0	0
65歳～69歳	0	0	0
70歳～74歳	0	1	1
75歳～79歳	0	0	0
80歳～84歳	0	3	3
85歳～89歳	3	2	5
90歳～94歳	0	2	2
95歳以上	0	0	0
合計	3	8	11

項目	男 性（歳）	女 性（歳）	平 均（歳）
平均年齢	87.7	85.4	86.6
最高年齢	88	92	—
最低年齢	87	74	—



## デイケア（一般）

### ≪利用者の状況≫

2025年 3月 31日

#### 1. 性別・人数の構成

性別	利用人数	合計（人）
男性	44	101
女性	57	

#### 2. 年齢の構成

年齢別階層	男 性（人）	女 性（人）	合 計（人）
65歳未満	3	2	5
65歳～69歳	6	3	9
70歳～74歳	8	5	13
75歳～79歳	14	12	26
80歳～84歳	6	13	19
85歳～89歳	4	11	15
90歳～94歳	3	11	14
95歳以上	0	0	0
合計	44	57	101

項目	男 性（歳）	女 性（歳）	平 均（歳）
平均年齢	76.3	81.3	78.8
最高年齢	94	94	—
最低年齢	59	55	—

## 【みちのく金谷リハビリテーションセンター】

### 金谷リハ（予防）

≪利用者の状況≫

2025年 3月 31日

#### 1. 性別・人数の構成

性別	利用人数	合計（人）
男性	22	106
女性	84	

#### 2. 年齢の構成

年齢別階層	男 性（人）	女 性（人）	合 計（人）
65歳未満	3	1	4
65歳～69歳	2	3	5
70歳～74歳	4	7	11
75歳～79歳	4	14	18
80歳～84歳	4	31	35
85歳～89歳	5	20	25
90歳～94歳	0	8	8
95歳以上	0	0	0
合計	22	84	106

項目	男 性（歳）	女 性（歳）	平 均（歳）
平均年齢	75.5	81.6	78.6
最高年齢	87	94	—
最低年齢	51	63	—

## 金谷リハ（一般）

### 《利用者の状況》

2025年 3月 31日

#### 1. 性別・人数の構成

性別	利用人数	合計（人）
男性	56	108
女性	52	

#### 2. 年齢の構成

年齢別階層	男 性（人）	女 性（人）	合 計（人）
65歳未満	7	1	8
65歳～69歳	4	0	4
70歳～74歳	12	7	19
75歳～79歳	10	8	18
80歳～84歳	11	15	26
85歳～89歳	9	11	20
90歳～94歳	3	10	13
95歳以上	0	0	0
合計	56	52	108

項目	男 性（歳）	女 性（歳）	平 均（歳）
平均年齢	76.6	82	79.3
最高年齢	92	94	—
最低年齢	52	56	—

## 【みちのく訪問リハビリテーションセンター】

### 訪問リハ（予防）

《利用者の状況》

2024年 10月 31日

※事業縮小に伴い、要支援は10月末での集計としている

#### 1. 性別・人数の構成

性別	利用人数	合計（人）
男性	0	3
女性	3	

#### 2. 年齢の構成

年齢別階層	男 性（人）	女 性（人）	合 計（人）
65歳未満	0	0	0
65歳～69歳	0	0	0
70歳～74歳	0	0	0
75歳～79歳	0	0	0
80歳～84歳	0	1	1
85歳～89歳	0	1	1
90歳～94歳	0	1	1
95歳以上	0	0	0
合計	0	3	3

項目	男 性（歳）	女 性（歳）	平 均（歳）
平均年齢	—	86.3	86.3
最高年齢	—	92	—
最低年齢	—	81	—

## 訪問リハ（一般）

### 《利用者の状況》

2025年 3月 31日

#### 1. 性別・人数の構成

性別	利用人数	合計（人）
男性	16	33
女性	17	

#### 2. 年齢の構成

年齢別階層	男 性（人）	女 性（人）	合 計（人）
65歳未満	2	4	6
65歳～69歳	1	1	2
70歳～74歳	3	1	4
75歳～79歳	4	1	5
80歳～84歳	3	6	9
85歳～89歳	1	1	2
90歳～94歳	0	2	2
95歳以上	2	1	3
合計	16	17	33

項目	男 性（歳）	女 性（歳）	平 均（歳）
平均年齢	77.8	76.4	77.1
最高年齢	98	95	—
最低年齢	61	47	—

## 2024 年度 事業所方針

作成日：2024/3/15

作成者：太田 陽江

事業所名： みちのく訪問看護ステーション

### 【事業所方針】

- 1 職員が働き続けられる職場づくりをし離職を防ぐ
- 2 看護の質向上に努めサービスを実践する

【重点項目】 ■事業所方針をもとに、以下において取組内容等を設定する■

### 【A】財務管理

取組内容		人材確保により目標額を達成する			
2023 年度	[4月～2月実績]	37,134,448円			
2024 年度	[目標（値）]	30,967,000円			
	[結果]	30,403,984円			
評 価	B		評価日	2025/5/23	評価者 太田 陽江

### 【B】顧客満足度／サービス向上

取組内容		毎月のカンファレンスで接遇の評価し、表情や態度についての指摘をゼロにする			
2023 年度	[4月～2月実績]	2 件			
2024 年度	[目標（値）]	0 件			
	[結果]	0件			
評 価	A		評価日	2025/5/23	評価者 太田 陽江

### 【C】教育訓練

取組内容		外部研修参加により職員のスキルアップにつなげる			
2023 年度	[4月～2月実績]	7 件			
2024 年度	[目標（値）]	10件			
	[結果]	7件			
評 価	B		評価日	2025/5/23	評価者 太田 陽江

### 【D】リスク予知対策活動

取組内容		衛生材料依頼忘れや請求間違いをゼロにする			
2023 年度	[4月～2月実績]	3件			
2024 年度	[目標（値）]	0件			
	[結果]	2件			
評 価	C		評価日	2025/5/23	評価者 太田 陽江

### 【E】継続的改善活動

取組内容		業務プロセスを見直し、業務改善により働きやすい職場を目指す			
2023 年度	[4月～2月実績]	離職者 1 名			
2024 年度	[目標（値）]	離職者 0 名			
	[結果]	離職者0名			
評 価	A		評価日	2025/5/23	評価者 太田 陽江

## [F] 関連指標

取組内容		看護師採用や利用者獲得に活用できるホームページ作成の工夫			
2023 年度	[4月～2月実績]	1 2 回更新			
2024 年度	[目標（値）]	1 2 回以上更新			
	[結果]	7回更新			
評 価	C	評価日	2025/5/23	評価者	太田 陽江
評価基準	A：目標を達成 [目標を達成している]				
	B：おおむね達成 [目標に対しての度合いが半分を超えている]				
	C：達成が十分とは言い難い [A・Bに満たさない]				

## 【事業総括】

作成日： 2025/5/23

作成者： 太田 陽江

- ・ 4 月育休明け職員含め正職 4 名、パート 2 名で稼働。6 月、正職 1 名はパート 1 日 6.0 h 勤務となる。  
1 月パート 1 名産休に入り、正職 3 名、パート 2 名での体制となった。
- ・ 利用者登録数 50→47 名で推移。退職はなかったが産休により職員数減少し登録数を増やすことができなかった。  
11 月より医療的ケア児在宅レスパイト事業が開始となり 3 月に初回利用となっている。利用目的の理解と普及により今後利用回数増えると考えられる。
- ・ 顧客満足度アンケートでは初めて QR コードを用いたり、Google フォームでの集計を行うなどの取り組みをして時間短縮につながった。評価は接遇での不満足はなかったが「爪切り・耳掃除」などの技術面での不満足が 1 件あった。カンファレンスで情報を共有しマニュアルの再確認や訪問時のケア内容の見直しを行った。
- ・ 改善活動では「業務プロセスを見直し、業務改善により働きやすい職場を目指す」として取り組みをした。改善するまでには至らなかったが、スタッフにアンケートを取ることで負担を感じる業務などがみえてきた今後はその解決に取り組みたい。
- ・ 少ない人数での業務の工夫などスタッフで話し合い協力していきたい。

## 1. 研修開催報告書

事業所名： みちのく訪問看護ステーション

実施月	研修の種類	教育訓練名
4月	内部	看護倫理
5月	内部	高齢者虐待の防止等に関する研修
6月	内部	感染症①(吐物処理の仕方)
		自分の役割・責務・職責研修
	外部	安全運転管理者講習
		令和6年度訪問看護管理者研修 ステップ2 訪問看護の質評価
8月	内部	認知症①(疾患について)
	外部	カンジダ菌による誤嚥性肺炎を防ぐための看護師の役割
9月	内部	認知症②(ケア・対応について)
		苦情・クレーム(カスハラ)対応研修
		第23回むつ下北地域橋渡し研修会
	外部	接遇マナーに関する研修会
10月	内部	プライバシー保護の取り組み
		感染症②
12月	内部	ハラスメントの研修
1月	内部	KYT研修
	外部	こどものリハビリテーション
3月	内部	BCP研修
	外部	訪問看護のエンゼルケア

## 2. 会議開催実績

会議名	開催月
訪問看護カンファレンス	4月 5月 6月 7月 8月 10月 12月 2月
ISO推進会議	8月 10月 2月
感染症予防対策委員会	4月 7月 8月 9月 10月 12月
高齢者虐待防止	5月 8月 10月 12月 3月



## 2024 年度 事業所方針

作成日：2024/3/14

作成者：中西 由加里

事業所名：みちのくクリニック

### 【事業所方針】

- 診療報酬改定に伴う加算取得のため、施設基準やシステム環境を整備する。
- 災害時等における事業継続計画の策定・シミュレーションを実施する。

【重点項目】■事業所方針をもとに、以下において取組内容等を設定する■

#### [A] 財務管理

取組内容		診療報酬改定に伴う診療体制整備			
2023 年度	[4月～2月実績]	—			
2024 年度	[目標（値）]	医療DX推進関連及び医学管理関連加算取得			
	[結果]	医療DX推進体制加算及び生活習慣病管理料1算定			
評 価	A		評価日	2025/5/21	評価者 徳田 努

#### [B] 顧客満足度／サービス向上

取組内容		顧客満足度アンケート＞態度・言葉遣い			
2023 年度	[4月～2月実績]	やや不親切 2 件			
2024 年度	[目標（値）]	やや不親切0件			
	[結果]	やや不親切1件			
評 価	B		評価日	2025/5/21	評価者 徳田 努

#### [C] 教育訓練

取組内容		ワイスター取得（全職種）のための対策講座実施			
2023 年度	[4月～2月実績]	合格者1名			
2024 年度	[目標（値）]	合格者3名			
	[結果]	ワン＆ツー1名、ツー1名、スリー1名合格した			
評 価	A		評価日	2025/5/21	評価者 徳田 努

#### [D] リスク予知対策活動

取組内容		BCPの策定と定着			
2023 年度	[4月～2月実績]	—			
2024 年度	[目標（値）]	BCP研修及びシミュレーション実施			
	[結果]	BCP研修は法人に合わせて行ったが、シミュレーションは未実施			
評 価	B		評価日	2025/5/21	評価者 徳田 努

#### [E] 継続的改善活動

取組内容		物品管理業務のシステム化			
2023 年度	[4月～2月実績]	—			
2024 年度	[目標（値）]	改善活動現状調査後に決定			
	[結果]	物品ごとに在庫量を決めて発注するよう標準化してシステム化できた。			
評 価	A		評価日	2025/5/21	評価者 徳田 努

取組内容		診療報酬改定に伴う診療体制整備			
2023 年度	[4月～2月実績]	—			
2024 年度	[目標（値）]	医療DX推進関連及び医学管理関連加算取得			
	[結果]	[A]同様、医療DX推進体制加算及び生活習慣病管理料1算定			
評 価	A	評価日	2025/5/20	評価者	徳田 努

#### [F] 関連指標

評価基準	A：目標を達成	[目標を達成している]
	B：おおむね達成	[目標に対しての度合いが半分を超えている]
	C：達成が十分とは言い難い	[A・Bに満たさない]

#### 【事業総括】

作成日： 2025/5/21

作成者： 徳田 努

2024年3月で医師が一名退職（鈴木医師）、2024年4月に医師一名採用（松尾医師）と、医師の入れ替わりがあった。それに伴い、下部消化管内視鏡検査は当クリニックでできなくなり、売り上げの大幅な減少（年間6,000万円前後の減少）が見込まれた中でのスタートだった。

2024年度は2023年度と比較し、年間延べ患者数は+44人の合計31,643人であった。新患数は前年と比べて568人減少し、1,792人であった。検査ができなくなった項目があり、胃内視鏡の件数が約1/3減、大腸内視鏡及びポリープ切除術が0件であったが、風邪症状の患者を院内で検査・診察をする体制を整えたことが功を奏し、延べ患者数を伸ばすことができた。訪問診療は、松尾医師の退職による医師1人体制に備えて制限をかけたこともあり、延べ人数で年間42人減の409人であった。そんな中2024年度の売り上げは、目標額244,000,000円に対して292,520,766円と、目標対比48,520,766円、対前年比で-9,685,629円と想定よりも大幅に売り上げることができた。大きな要因としては、診療報酬改定により、特定疾患療養管理料から脂質異常症・高血圧・糖尿病の3疾患を除外し、生活習慣病管理料へと移行されたが、今までよりもかなり時間のかかる説明や書類作成が必要となったものの、できるだけ時間が少なくなるよう体制を整えて生活習慣病管理料1を算定できたことが挙げられる。今後もその時々状況に合わせて生産性向上の取組をしていく。

最後に、2025年3月で松尾医師が退職となってしまった。2025年度は医師一人による診療体制を築きつつ、医師の確保を目指していく。

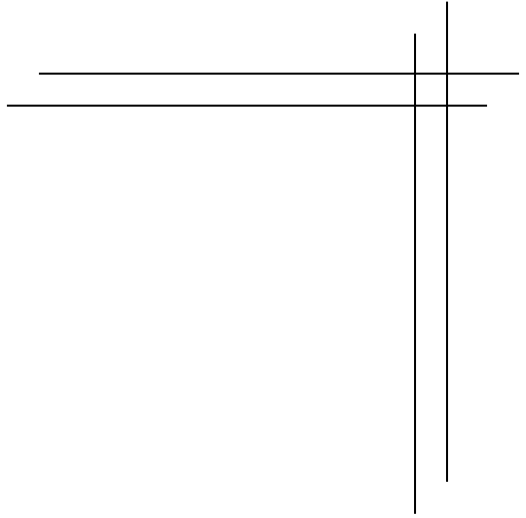
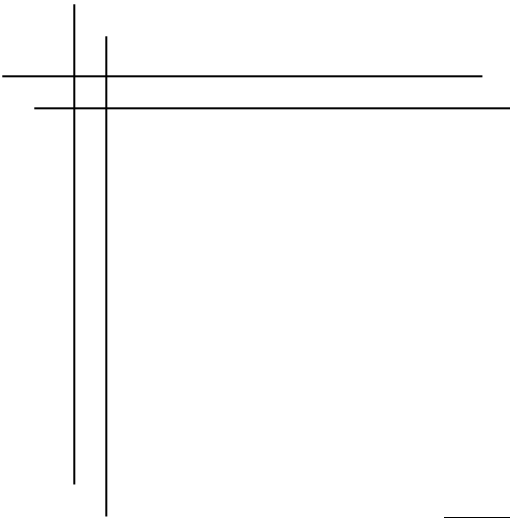
## 1.研修開催報告書

事業所名： みちのくクリニック

実施月	研修の種類	教育訓練名
5月	内部	新任採用者研修
6月	内部	自分の役割・責務・職責
8月	内部	医療事務研修①
		ワンスター対策講座（接遇）
9月	内部	苦情・クレーム対応研修
10月	内部	ツースター対策講座（医療事務）
11月	内部	スリースター対策講座（医療事務）
12月	内部	ハラスメントの研修（セクシャルハラスメント/パワーハラスメント）
2月	内部	看護職研修
3月	内部	成長する過程の中での苦悩と努力
		BCP研修

## 2. 会議開催実績

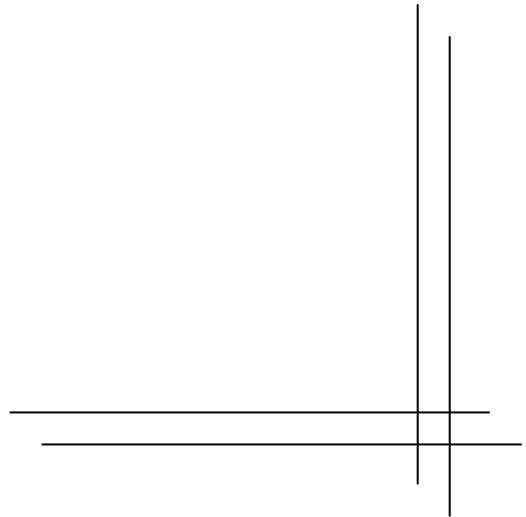
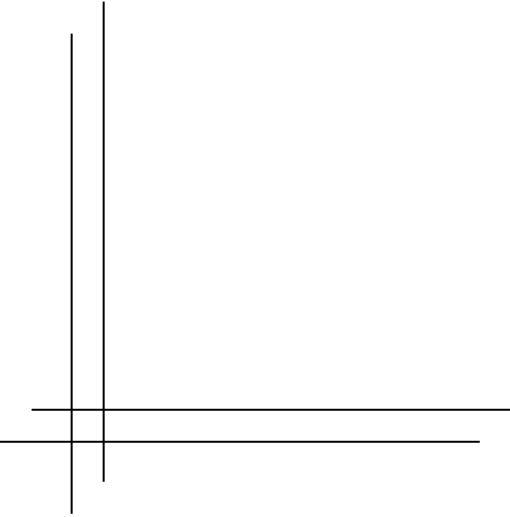
会議名	開催月											
クリニック会議	4月	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	2月	3月		



# 7 施設事業部

## 〔仙台拠点〕

特別養護老人ホームまるめろ



## 2024 年度 事業所方針

作成日：2024/3/15

作成者：杉野 弘幸

事業所名： 特別養護老人ホームまるめろ

### 【事業所方針】

- 介護DX推進による業務改善
- ISO推進による業務改善
- 利用者ニーズにマッチした保険外サービスの構築

【重点項目】 ■事業所方針をもとに、以下において取組内容等を設定する■

#### [A] 財務管理

取組内容		特養の満床と黒字化			
2023 年度	[4月～2月実績]	－			
2024 年度	[目標（値）]	2024年6月での80床満床と、その後のベッド回転率96%以上			
	[結果]	2025年3月時点で入所74床、2023年6月以降のベッド回転率平均83.7%			
評 価	C	評価日	2025/5/20	評価者	杉野 弘幸

#### [B] 顧客満足度／サービス向上

取組内容		顧客満足度調査の実施			
2023 年度	[4月～2月実績]	－			
2024 年度	[目標（値）]	利用者および家族へ顧客満足度調査を実施し、いずれも平均点80点以上			
	[結果]	利用者、家族へ顧客満足度調査を実施し、平均点89.5点			
評 価	A	評価日	2025/5/20	評価者	杉野 弘幸

#### [C] 教育訓練

取組内容		外部研修の推進			
2023 年度	[4月～2月実績]	－			
2024 年度	[目標（値）]	医療的ケア研修4名、ユニットリーダー研修2名、認知症実践者研修2名の参加			
	[結果]	医療的ケア研修4名のみ参加			
評 価	C	評価日	2025/5/20	評価者	杉野 弘幸

#### [D] リスク予知対策活動

取組内容		ISOに則ったリスク予知対策活動の推進			
2023 年度	[4月～2月実績]	－			
2024 年度	[目標（値）]	年間ヒヤリ（インシデント発見）件数365件以上			
	[結果]	年間ヒヤリ件数193件			
評 価	B	評価日	2025/5/20	評価者	杉野 弘幸

#### [E] 継続的改善活動

取組内容		QC活動の推進			
2023 年度	[4月～2月実績]	－			
2024 年度	[目標（値）]	管理職QCサークル2件、職員QCサークル2件の実施			
	[結果]	施設満床後のQCサークル開始の計画だったため、実施していない			
評 価	C	評価日	2025/5/20	評価者	杉野 弘幸

評価基準	A：目標を達成	[目標を達成している]
	B：おおむね達成	[目標に対しての度合いが半分を超えている]
	C：達成が十分とはいえない	[A・Bに満たさない]

## 【事業総括】

作成日：2025/5/20

作成者：杉野 弘幸

2024年度は、特養まるめろ開設3年目を迎え、施設の安定運営と入居者確保に向けた取り組みを継続した。しかし、施設は未だ満床には至らず、入居者の獲得が引き続き課題となっている。

年間を通じた施設運営では、昨年度以上に感染症対応を求められる場面が多かった。7月に新型コロナウイルス感染症、12月には2度目の新型コロナウイルス感染症対応に加え、インフルエンザ感染症対応を実施した。結果として、いずれの感染症もクラスター化せず、初期対応のみで1週間程度で通常運営に復帰できるなど、職員の迅速な対応と高い感染管理意識がスムーズな収束へとつながった。

入居計画の面では、地域における特養新設ラッシュが4月をもって収束し、他法人の施設においても年間を通じて空床が目立つ状況が続いた。前年度より医療的ケアを必要とする入居者を主なターゲットとして入居者獲得を進めてきたが、これにより医療職の負担が増加し、施設の職員配置計画との乖離が生じた。このため、新たな方針として生活保護受給者や特例入居者の受け入れにも注力し、入居案内の対象を拡大した。結果的に2024年度内での満床には至らなかったものの、年間の最高入居者数は79床、年度末時点では74床と、前年比20%のベッド回転率向上を達成した。施設の基礎固めにおいては、職員体制の安定化に伴い、教育計画や研修の実施を推進し、ISO認証取得を達成することができた。

来年度に向けては、さらなる入居者獲得と、満床後のベッド回転率の安定化を図る計画が必要となる。教育計画や研修の効率化を進めることで職員体制をさらに強化し、ISOの推進と生産性向上を目指して取り組んでいく。

## 1. 研修開催報告書

事業所名： 特別養護老人ホームまるめろ

実施月	研修の種類	教育訓練名
4月	内部	看取り研修
6月	内部	倫理および法令順守研修
7月	外部	喀痰吸引等研修①
8月	内部	事故防止研修①
		感染症研修①
		BCP研修
	外部	喀痰吸引等研修②
9月	内部	虐待、身体拘束研修①
		認知症ケア研修
		精神的ケア研修
	外部	喀痰吸引等研修③
10月	内部	プライバシー保護研修
		虐待、身体拘束研修②
	外部	喀痰吸引等研修④
2月	内部	事故防止研修②
3月	内部	BCP研修
		感染症研修②

## 2. 会議開催実績

会議名	開催月
入居検討委員会	毎月
感染症委員会	4月 6月 10月 2月
虐待・身体拘束予防対策委員会	4月 7月 11月 1月
事故防止対策委員会	4月 5月 6月 8月 9月 10月
褥瘡予防対策委員会	5月 7月 8月 11月 1月
看取り委員会	3月 4月 5月 7月 8月 10月 11月 12月 1月 3月
安全衛生委員会	毎月
フード会議	毎月
ユニットリーダー会議	3月 5月 7月 8月 9月 11月 2月 3月
仙台事業本部会議	毎月
施設運営会議	4月 5月 6月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月

## 入居者の状況 [特別養護老人ホーム特養まるめろ]

### ① 入退居者の状況

2024年04月 ～ 2025年03月

項 目		2024年									2025年			計 (人)
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
入居者		4	2	1	4	3	4	3	1	1	2	1	4	30
退居者		1	3	0	1	1	2	1	1	0	1	6	1	18
内 訳	死 亡	1	2		1	1	2		1			3		11
	入 院		1					1				2		4
	他施設へ												1	1
	自宅引取										1	1		2
看取り実績		1	2		1	1	2		1			3		11
月末所在者数		64	65	66	69	71	73	75	75	76	77	71	74	

### ② 退居の内訳状況

2024年04月 ～ 2025年03月

内 訳	死亡	入院	他施設へ	自宅引取	計
男	5人	1人	1人	2人	9人
女	6人	3人			9人
計	11人	4人	1人	2人	18人

### ③ 介護度別入居者の状況

2025年3月31日 現在

項 目	男	女	計
要介護1	0人	2人	2人
要介護2	0人	2人	2人
要介護3	4人	17人	21人
要介護4	3人	30人	33人
要介護5	3人	7人	10人
計	10人	58人	68人
平均介護度			4.6



## ④ 入居者の入退院状況

2024年04月 ～ 2025年03月

項目	2024年									2025年			計 (人)
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
入院	3	3	5	5	3	1	1	0	1	4	5	2	33
退院	2	1	2	4	2	1	1	0	0	2	2	2	19

## ⑤ 入居者の年齢状況

最高年齢者 105歳

( ☐ 男性 ・ ☒ 女性 )

2025年3月31日 現在

項 目	男	女	計
70～74歳	3人	2人	5人
75～79歳	2人	8人	10人
80～84歳	1人	7人	8人
85～89歳	3人	22人	25人
90～94歳	1人	10人	11人
95歳～	2人	7人	9人
計	12人	56人	68人
平均	79歳	90歳	89歳

## ⑥ 面会者の状況

2024年04月 ～ 2025年03月

区 分		面会者の 総 数	1人当たりの 平均面会者	1日当たりの 平均面会者
2024年	4月	105人	1.6人	3.5人
	5月	113人	1.7人	3.6人
	6月	80人	1.2人	2.6人
	7月	124人	1.8人	4.0人
	8月	121人	1.7人	3.9人
	9月	131人	1.8人	4.3人
	10月	149人	2.0人	4.8人
	11月	164人	2.2人	5.5人
	12月	133人	1.8人	4.2人
2025年	1月	132人	1.7人	4.2人
	2月	164人	2.3人	5.8人
	3月	178人	2.4人	5.9人
計		1594人	1.8人	4.4人

⑦ 食事の状況 2025年3月31日 現在

食事形態	人数
常食	46人
ソフト	19人
ミキサー	3人
合計	68人

※1名 経管栄養

⑧ 日中におけるおむつの使用 2025年3月31日 現在

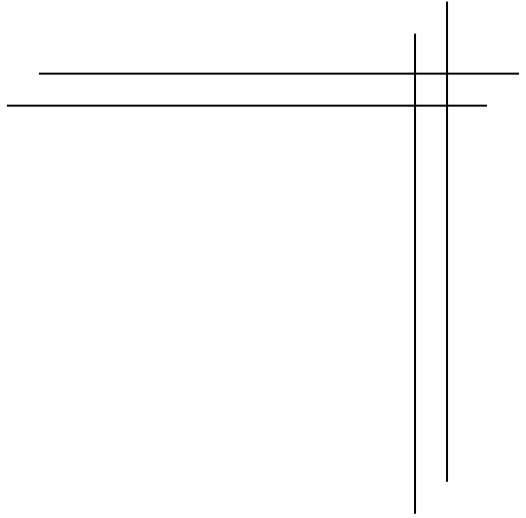
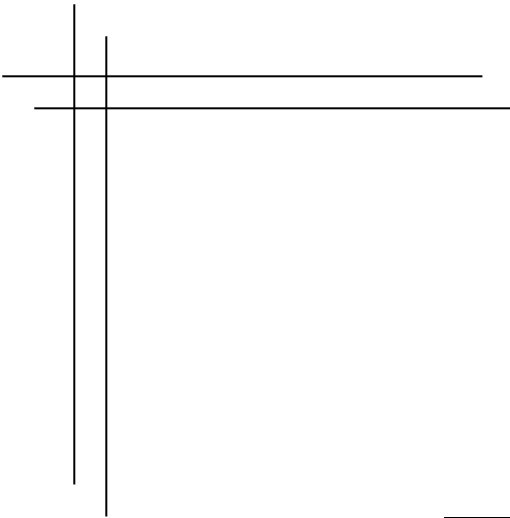
ユニット	おむつ使用者（日中）
あい	7人 / 10人
あかね	4人 / 10人
こはく	8人 / 9人
みどり	6人 / 8人
やまぶき	2人 / 7人
わかくさ	4人 / 8人
むらさき	3人 / 10人
ぼたん	3人 / 6人
合計	37人 / 68人

⑨ 夜間におけるおむつの使用 2025年3月31日 現在

ユニット	おむつ使用者（日中）
あい	6人 / 10人
あかね	6人 / 10人
こはく	6人 / 9人
みどり	3人 / 8人
やまぶき	4人 / 7人
わかくさ	4人 / 8人
むらさき	4人 / 10人
ぼたん	7人 / 6人
合計	40人 / 68人

⑩ 入浴の状況 2025年3月31日 現在

入浴形態	人数
一般浴	7人
特浴	61人
合計	68人



# 8 在宅事業部

## 〔仙台拠点〕

まるめろケアプランセンター西多賀

## 2024 年度 事業所方針

作成日： 2025/5/20

作成者： 古田 定子

事業所名： まるめろケアプランセンター西多賀

### 【事業所方針】

- ケアマネジメント業務においてICT化の活用により業務効率がアップできる仕組みを作る。
- 専門知識の習得及び対人援助のスキル向上によりケアマネジメントの質の向上を図る。

【重点項目】 ■事業所方針をもとに、以下において取組内容等を設定する■

### 【A】財務管理

取組内容		特定事業所加算Ⅱの獲得を維持する。			
2023 年度	[4月～2月実績]	9月までは維持できたが、人員減により10月よりⅢ、1月より取得できなくなった。			
2024 年度	[目標（値）]	特定事業所加算Ⅲの獲得を目指す。			
	[結果]	人員を満たすことができず、加算取得はできていない。			
評 価	C	評価日	2025/5/20	評価者	古田 定子

### 【B】顧客満足度／サービス向上

取組内容		満足度調査『担当のケアマネに相談しやすい』			
2023 年度	[4月～2月実績]	86%			
2024 年度	[目標（値）]	相談しやすい90%			
	[結果]	相談しやすい95%			
評 価	A	評価日	2025/5/20	評価者	古田 定子

### 【C】教育訓練

取組内容		事例検討によりケアプラン作成のスキル向上を図る			
2023 年度	[4月～2月実績]	1回／3ヶ月			
2024 年度	[目標（値）]	1回／2ヶ月			
	[結果]	1回／3ヶ月			
評 価	B	評価日	2025/5/20	評価者	古田 定子
取組内容		外部研修及び包括主催研修へ積極的に参加する			
2023 年度	[4月～2月実績]	4件／人			
2024 年度	[目標（値）]	5件／人			
	[結果]	4件／人			
評 価	B	評価日	2025/5/20	評価者	古田 定子

### 【D】リスク予知対策活動

取組内容		給付管理業務での返戻などのミスを無くす。			
2023 年度	[4月～2月実績]	5件			
2024 年度	[目標（値）]	3件			
	[結果]	1件			
評 価	A	評価日	2025/5/20	評価者	古田 定子

## [E] 継続的改善活動

取組内容		ノートパソコンとi-phoneの活用によるケアマネジメントの効率化を図る			
2023 年度	[4月～2月実績]	なし			
2024 年度	[目標（値）]	訪問時等、事業所外でも入力作業等のマネジメント業務を行うことができる。			
	[結果]	4人中3人がノートパソコンやi-phonでの入力を外出先でも活用できた。			
評 価	B	評価日	2025/5/20	評価者	古田 定子

## [F] 関連指標

評価基準	A：目標を達成	[目標を達成している]
	B：おおむね達成	[目標に対しての度合いが半分を超えている]
	C：達成が十分とはいえない	[A・Bに満たさない]

## 【事業総括】

作成日：2025/5/20

作成者：古田 定子

- ・財務管理に関しては、人員の減少が続き、特定事業所加算の取得は難しい状況に至っている。
- ・満足度調査による結果としては、多くの利用者から『相談しやすい』との評価を得ることができた。
- ・教育訓練については、事業所内で事例検討を行う日程調整が難しいこともあり、実施回数が多くはなかった。外部研修についても、回数の多いスタッフと少ないスタッフの差ができてしまった。
- ・リスク余地対策活動について、返戻は1件のみでミスを最小限に抑えられたことは良かった。
- ・継続的改善活動について、業務の効率化のためのICT活用を勧めているが、スタッフの意識とスキルに差がある状況だった。そのための研修などは、今後注力すべき課題となる。

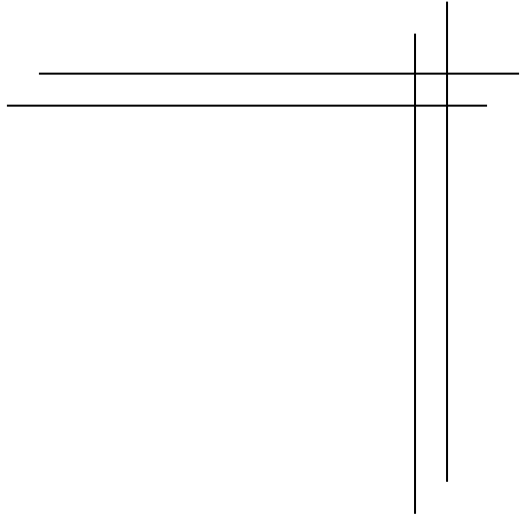
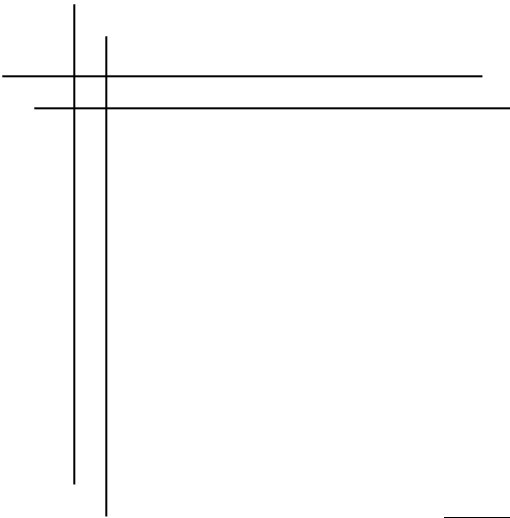
## 1.研修開催報告書

事業所名： まるめろケアプランセンター西多賀

実施月	研修の種類	教育訓練名
4月	内部	法令遵守
5月	外部	地域包括主催研修
6月	外部	他法人合同研修
		県及び市主催ケアマネ研修
7月	内部	虐待防止研修
	外部	地域包括主催研修
8月	内部	感染症対策
9月	外部	他法人合同研修
1月	内部	身体拘束研修
		認知症研修
		プライバシー保護研修
	外部	他法人合同研修
		病院主催研修

## 2. 会議開催実績

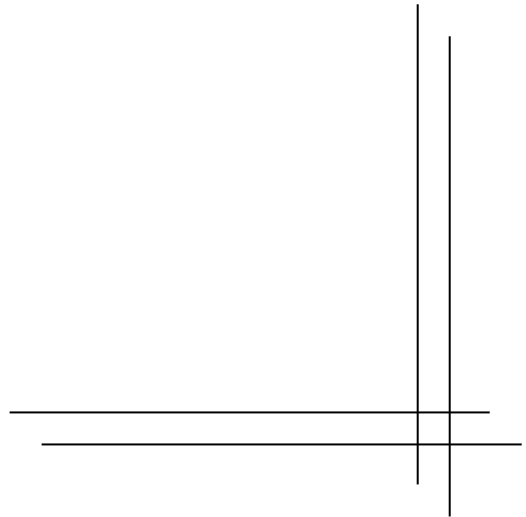
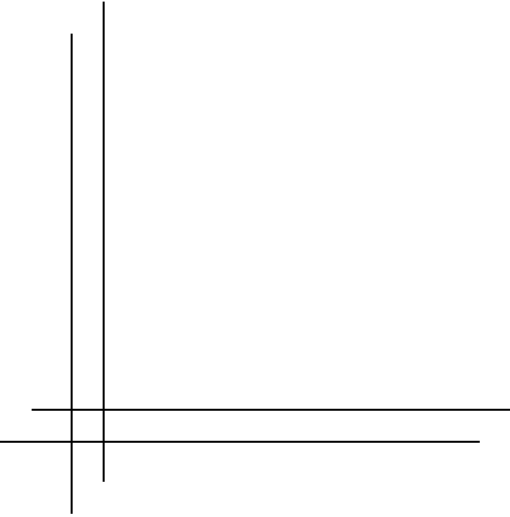
会議名	開催月
ケアプランAIプロジェクト	毎月



## 9 医療事業部

〔仙台拠点〕

まるめろナースステーション西多賀



## 2024 年度 事業所方針

作成日：2024/3/15

作成者：中里 玲子

事業所名： まるめろナースステーション西多賀

### 【事業所方針】

- 1 利用者に関する情報共有システムの確立とケアの統一を図る
- 2 感染症対策強化、高齢者虐待防止の推進、BCP策定を確実に導入する

【重点項目】 ■事業所方針をもとに、以下において取組内容等を設定する■

### 【A】財務管理

取組内容		毎日の訪問件数を20件以上とし、昨年度実績額の10%アップを目指す			
2023 年度	[4月～2月実績]	34,560,205円			
2024 年度	[目標（値）]	39,150,000円			
	[結果]	40,218,724円			
評 価	A	評価日	2025/4/29	評価者	中里 玲子

### 【B】顧客満足度／サービス向上

取組内容		利用者のニーズを明確にし担当者変更を減らす			
2023 年度	[4月～2月実績]	3件			
2024 年度	[目標（値）]	2件			
	[結果]	6件			
評 価	C	評価日	2025/4/29	評価者	中里 玲子

### 【C】教育訓練

取組内容		事業所内事例検討を行う。			
2023 年度	[4月～2月実績]	6件			
2024 年度	[目標（値）]	8件			
	[結果]	9件			
評 価	A	評価日	2025/4/29	評価者	中里 玲子
取組内容		事業所内研修を予定通り実施する			
2023 年度	[4月～2月実績]	1～2月遅れとなったり、一部実施出来ないものもあり。			
2024 年度	[目標（値）]	毎月実施			
	[結果]	毎月実施は出来たが、研修内容に変更があった。			
評 価	A	評価日	2025/4/29	評価者	中里 玲子

### 【D】リスク予知対策活動

取組内容		事故発生を予防するためのヒヤリハットの報告件数が増える。			
2023 年度	[4月～2月実績]	6件/月			
2024 年度	[目標（値）]	8件/月			
	[結果]	平均8件/月			
評 価	A	評価日	2025/4/29	評価者	中里 玲子



取組内容	感染症対策強化委員会を開催し訪問による感染拡大を予防する				
2023 年度	[4月～2月実績]	なし			
2024 年度	[目標（値）]	年に2回の委員会を実施する。			
	[結果]	2回			
評 価	A	評価日	2025/4/29	評価者	中里 玲子

#### 【E】継続的改善活動

取組内容	年 2 回 3 日以上の連休の取得				
2023 年度	[4月～2月実績]	正職員 6 名中 4 名が取得			
2024 年度	[目標（値）]	全員が取得			
	[結果]	全員が取得			
評 価	A	評価日	2025/4/29	評価者	中里 玲子
取組内容	情報共有のための夕礼を効率的に実施するためのシステム化の確立				
2023 年度	[4月～2月実績]	夕礼に要する時間：40分			
2024 年度	[目標（値）]	夕礼に要する時間を15分にする			
	[結果]	30分要した。			
評 価	C	評価日	2025/4/29	評価者	中里 玲子

#### 【F】関連指標

評価基準	A：目標を達成	[目標を達成している]
	B：おおむね達成	[目標に対しての度合いが半分を超えている]
	C：達成が十分とはいえない	[A・Bに満たさない]

#### 【事業総括】

作成日：2025/4/29

作成者：中里 玲子

2024年度は正職員の看護師が3名入職したが、訪問看護の経験者がおらず、なかなか、訪問看護の制度を理解してもらったところまで到達することが出来なかった。利用者と1対1で関わることに難しさを感じるが多かった様で、接遇の研修の必要性を感じるが多かった。利用者数は順調に増加し、一人5件/日は訪問することが出来たが、記録等の業務に時間がかかり、定時での退勤が難しい状況となっていた。また、利用者や家族から、担当者変更の希望も増えた。理由は、病院でのやり方を押し付けてしまう傾向が見られたことだった。利用者に寄り添うことが十分にできていなかった。入職した3名は、訪問看護がこんなに大変な仕事だとは思わなかったと話し、1～5年で退職となった。実績額としては目標を達成したが、訪問件数が増えても、人件費率を下げることは難しい状況が続いた。待機当番も管理者と係長の2名で行い、土日の訪問も入ることから、休日出勤も増えた。なんとか事業所を存続すべく努力はしたが、人員不足は解消せず、管理者が進行性の病を患い長期療養が必要となったことから、2025年5月末日をもって、事業所を休止する運びとなった。

## 1.研修開催報告書

事業所名： まるめろナースステーション西多賀

実施月	研修の種類	教育訓練名
4月	内部	緊急時対応研修
5月	内部	事故防止研修
6月	内部	BCP研修
7月	内部	身体拘束、高齢者虐待防止研修
8月	内部	感染症予防研修
9月	内部	倫理、法令研修
		ハラスメント研修
	外部	看護スキルアップ研修
11月	外部	看護スキルアップ研修
12月	内部	プライバシー保護研修
		認知症研修
1月	内部	BCP研修

## 2. 会議開催実績

会議名	開催月
事業所会議	毎月
感染症委員会	5月 12月
高齢者虐待防止委員会	6月 10月